

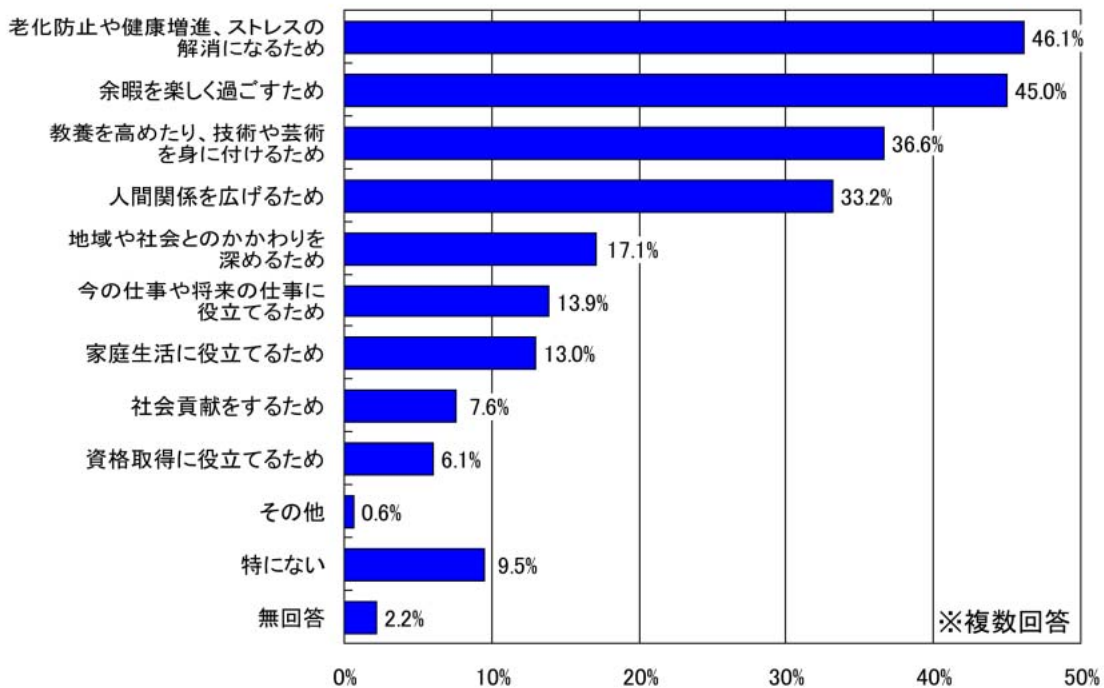
生涯学習の目的 ～「老化防止や健康増進、ストレス解消」が最多～

問13 あなたは、生涯学習活動をどんな目的で行っていますか。または行いたいと思いますか。次の中から3つ以内で選び、○をしてください。

			教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため	人間関係を広げるため	余暇を楽しく過ごすため	地域や社会とのかかわりを深めるため	社会貢献をするため	老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため	家庭生活に役立てるため	今の仕事や将来の仕事に役立てるため	資格取得に役立てるため	その他	特にない	無回答	対象
全体		度数	1,253	1,138	1,543	586	262	1,579	445	475	208	20	324	77	3,426
		割合	36.6%	33.2%	45.0%	17.1%	7.6%	46.1%	13.0%	13.9%	6.1%	0.6%	9.5%	2.2%	-
性別	男性	度数	561	465	734	270	148	611	129	229	93	15	183	39	1,556
		割合	36.1%	29.9%	47.2%	17.4%	9.5%	39.3%	8.3%	14.7%	6.0%	1.0%	11.8%	2.5%	-
	女性	度数	690	670	805	314	113	961	312	246	114	5	140	36	1,858
		割合	37.1%	36.1%	43.3%	16.9%	6.1%	51.7%	16.8%	13.2%	6.1%	0.3%	7.5%	1.9%	-
年代	20歳代	度数	153	89	105	23	11	56	52	109	52	3	25	3	303
		割合	50.5%	29.4%	34.7%	7.6%	3.6%	18.5%	17.2%	36.0%	17.2%	1.0%	8.3%	1.0%	-
	30歳代	度数	271	158	172	45	37	120	104	144	60	1	52	6	523
		割合	51.8%	30.2%	32.9%	8.6%	7.1%	22.9%	19.9%	27.5%	11.5%	0.2%	9.9%	1.1%	-
	40歳代	度数	266	191	244	100	48	214	87	115	50	2	55	8	596
		割合	44.6%	32.0%	40.9%	16.8%	8.1%	35.9%	14.6%	19.3%	8.4%	0.3%	9.2%	1.3%	-
	50歳代	度数	229	204	321	105	61	313	62	58	24	2	46	4	609
		割合	37.6%	33.5%	52.7%	17.2%	10.0%	51.4%	10.2%	9.5%	3.9%	0.3%	7.6%	0.7%	-
	60歳代	度数	195	290	432	193	65	519	80	33	13	7	78	18	798
		割合	24.4%	36.3%	54.1%	24.2%	8.1%	65.0%	10.0%	4.1%	1.6%	0.9%	9.8%	2.3%	-
	70歳以上	度数	136	206	268	120	40	356	59	14	9	5	65	38	589
		割合	23.1%	35.0%	45.5%	20.4%	6.8%	60.4%	10.0%	2.4%	1.5%	0.8%	11.0%	6.5%	-
地域区分	市街地地域	度数	467	399	552	185	100	547	157	161	83	8	125	23	1,221
		割合	38.2%	32.7%	45.2%	15.2%	8.2%	44.8%	12.9%	13.2%	6.8%	0.7%	10.2%	1.9%	-
	市街地周辺地域	度数	260	232	343	117	61	333	95	110	46	4	60	15	714
		割合	36.4%	32.5%	48.0%	16.4%	8.5%	46.6%	13.3%	15.4%	6.4%	0.6%	8.4%	2.1%	-
	厚南地域	度数	321	284	375	159	63	408	113	125	50	6	87	20	880
	割合	36.5%	32.3%	42.6%	18.1%	7.2%	46.4%	12.8%	14.2%	5.7%	0.7%	9.9%	2.3%	-	
	松代・若穂	度数	102	101	126	52	19	134	30	42	11	1	16	6	270
		割合	37.8%	37.4%	46.7%	19.3%	7.0%	49.6%	11.1%	15.6%	4.1%	0.4%	5.9%	2.2%	-
	中山間地域	度数	92	107	134	68	15	145	44	34	17	1	32	12	309
		割合	29.8%	34.6%	43.4%	22.0%	4.9%	46.9%	14.2%	11.0%	5.5%	0.3%	10.4%	3.9%	-

生涯学習活動の目的については、「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため（46.1%）」、「余暇を楽しく過ごすため（45.0%）」という回答が目立った。

「教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため（36.6%）」や「人間関係を広げるため（33.2%）」という回答も3割を超えている。



男女別にみると、「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」という回答は、「女性(51.7%)」が「男性(39.3%)」を10ポイント以上上回っている。このほか、「家庭生活に役立てるため」や「人間関係を広めるため」という回答も、「女性」が「男性」を上回っている。

一方、「男性」の方が「女性」を上回る回答としては、「余暇を楽しく過ごすため」、「社会貢献をするため」などである。

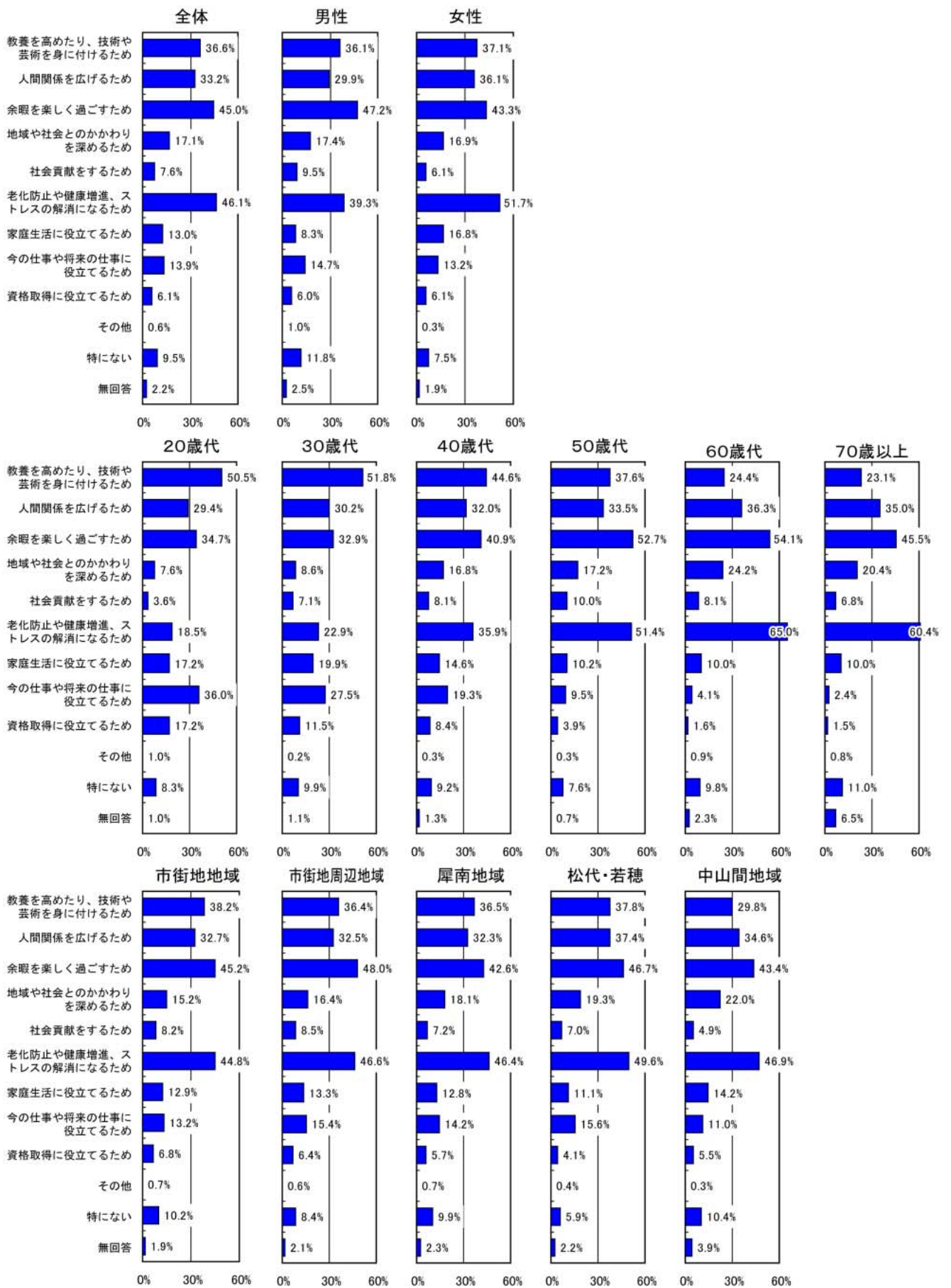
年代別でみると、「地域や社会とのかかわりを深めるため」および「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」という回答は、年代が高くなるに従って回答割合も高くなる傾向にある。特に「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」については、「20歳代」が18.5%であるのに対し、「60歳代」では65.0%に達している。

一方、「教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため」、「今の仕事や将来の仕事に役立てるため」、「資格取得に役立てるため」という回答は、年代が低くなるに従って、回答割合は高くなる傾向にある。

回答が最も多かった項目としては、「40歳代」以下は「教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため」、「50歳代」では「余暇を楽しく過ごすため」、「60歳代」以上では「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」となっている。

地域別では、「地域や社会とのかかわりを深めるため」という回答は「市街地地域」で15.2%であるのに対し、「中山間地域」では22.0%となっている。

「市街地地域」および「市街地周辺地域」では「余暇を楽しく過ごすため」が最も多い回答であった。それ以外の地域では「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」が最も多い回答であった。

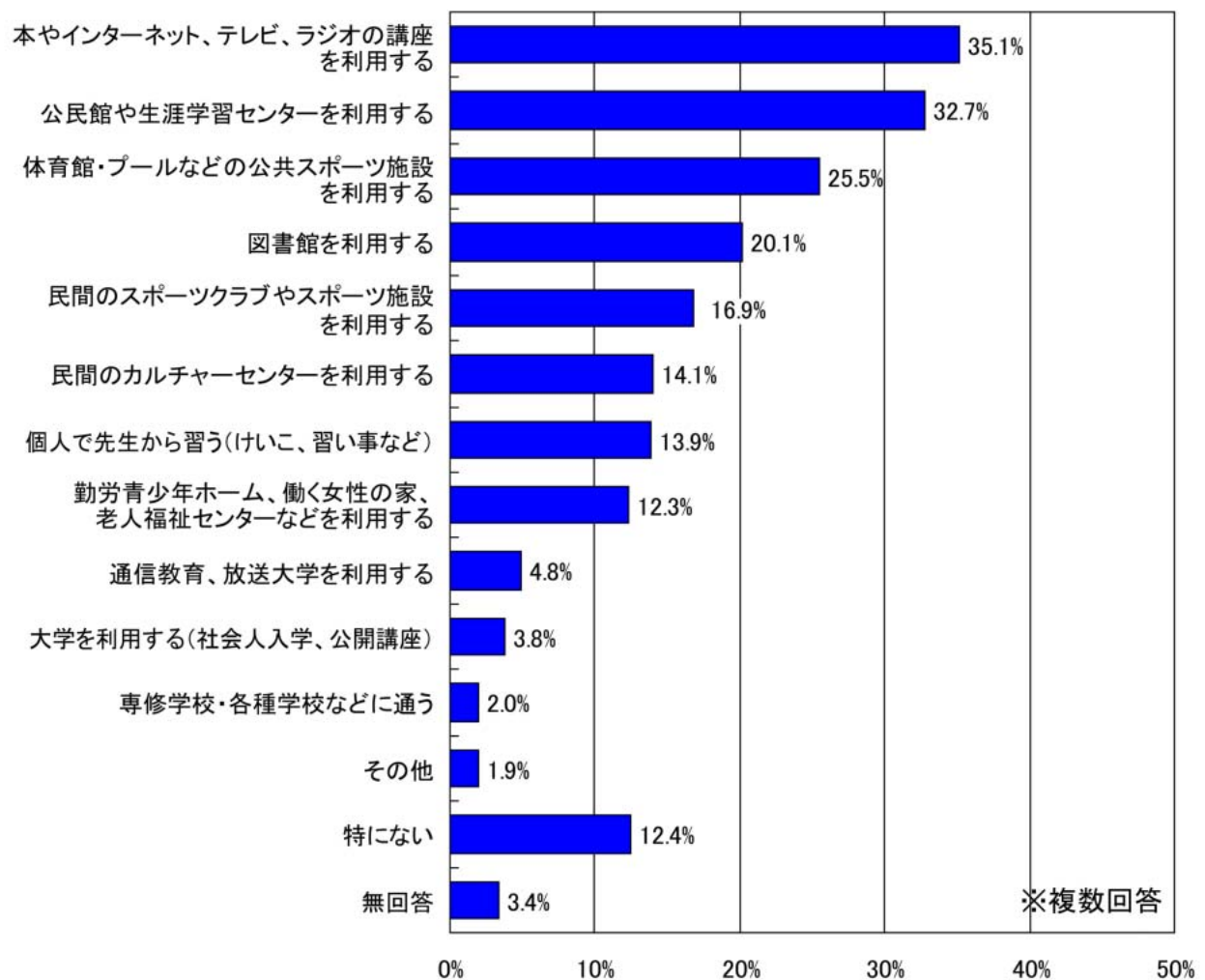


生涯学習の方法 ～本やインターネットなどによる学習が最多～

問 14 あなたは生涯学習活動を主にどのような方法で行っていますか。または行いたいと思いますか。次の中から3つ以内で選び、○をしてください。

		本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する	公民館や生涯学習センターを利用する	図書館を利用する	体育館・プールなどの公共スポーツ施設を利用する	勤労青少年ホーム、働く女性の家、老人福祉センターなどを利用する	民間のスポーツクラブやスポーツ施設を利用する	民間のカルチャーセンターを利用する	専修学校・各種学校などに通う	大学を利用する	通信教育、放送大学を利用する	個人で先生から習う	その他	特にない	無回答	対象
全体	度数	1,203	1,122	690	874	423	578	482	67	130	166	476	66	425	115	3,426
	割合	35.1%	32.7%	20.1%	25.5%	12.3%	16.9%	14.1%	2.0%	3.8%	4.8%	13.9%	1.9%	12.4%	3.4%	-
性別	男性	度数 669	400	325	402	122	253	161	32	60	68	138	43	234	50	1,556
	割合	43.0%	25.7%	20.9%	25.8%	7.8%	16.3%	10.3%	2.1%	3.9%	4.4%	8.9%	2.8%	15.0%	3.2%	-
	女性	度数 531	719	360	471	300	325	320	35	70	97	338	23	188	63	1,858
	割合	28.6%	38.7%	19.4%	25.3%	16.1%	17.5%	17.2%	1.9%	3.8%	5.2%	18.2%	1.2%	10.1%	3.4%	-
年代	20歳代	度数 157	41	72	70	15	64	34	27	15	25	50	4	28	2	303
	割合	51.8%	13.5%	23.8%	23.1%	5.0%	21.1%	11.2%	8.9%	5.0%	8.3%	16.5%	1.3%	9.2%	0.7%	-
	30歳代	度数 228	115	101	145	54	97	76	16	20	35	73	15	54	6	523
	割合	43.6%	22.0%	19.3%	27.7%	10.3%	18.5%	14.5%	3.1%	3.8%	6.7%	14.0%	2.9%	10.3%	1.1%	-
	40歳代	度数 227	165	125	186	61	130	94	14	31	41	87	9	72	10	596
	割合	38.1%	27.7%	21.0%	31.2%	10.2%	21.8%	15.8%	2.3%	5.2%	6.9%	14.6%	1.5%	12.1%	1.7%	-
	50歳代	度数 235	227	149	167	63	109	94	3	29	35	77	11	59	8	609
	割合	38.6%	37.3%	24.5%	27.4%	10.3%	17.9%	15.4%	0.5%	4.8%	5.7%	12.6%	1.8%	9.7%	1.3%	-
	60歳代	度数 219	341	150	212	144	123	127	5	23	22	114	16	99	27	798
	割合	27.4%	42.7%	18.8%	26.6%	18.0%	15.4%	15.9%	0.6%	2.9%	2.8%	14.3%	2.0%	12.4%	3.4%	-
	70歳以上	度数 133	233	92	94	85	55	56	2	12	8	75	11	110	62	589
	割合	22.6%	39.6%	15.6%	16.0%	14.4%	9.3%	9.5%	0.3%	2.0%	1.4%	12.7%	1.9%	18.7%	10.5%	-
地域区分	市街地地域	度数 415	382	248	276	153	213	195	24	59	71	179	25	156	34	1,221
	割合	34.0%	31.3%	20.3%	22.6%	12.5%	17.4%	16.0%	2.0%	4.8%	5.8%	14.7%	2.0%	12.8%	2.8%	-
	市街地 周辺地域	度数 259	240	141	205	81	120	102	18	23	26	110	17	83	23	714
	割合	36.3%	33.6%	19.7%	28.7%	11.3%	16.8%	14.3%	2.5%	3.2%	3.6%	15.4%	2.4%	11.6%	3.2%	-
	犀南地域	度数 315	278	196	246	107	160	115	14	27	38	104	13	107	31	880
割合	35.8%	31.6%	22.3%	28.0%	12.2%	18.2%	13.1%	1.6%	3.1%	4.3%	11.8%	1.5%	12.2%	3.5%	-	
	松代・若穂	度数 96	97	47	79	41	47	43	6	8	13	40	5	22	11	270
	割合	35.6%	35.9%	17.4%	29.3%	15.2%	17.4%	15.9%	2.2%	3.0%	4.8%	14.8%	1.9%	8.1%	4.1%	-
	中山間地域	度数 109	118	51	63	35	30	26	3	9	18	40	6	52	12	309
	割合	35.3%	38.2%	16.5%	20.4%	11.3%	9.7%	8.4%	1.0%	2.9%	5.8%	12.9%	1.9%	16.8%	3.9%	-

生涯学習活動の主な方法については、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する (35.1%)」が最も多い回答となった。「公民館や生涯学習センターを利用する (32.7%)」、「体育館・プールなどの公共スポーツ施設を利用する (25.5%)」、「図書館を利用する (20.1%)」がこれに続いており、公共施設の利用が多いことがうかがえる。



男女別でみると、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」という回答は「女性(28.6%)」より「男性(43.0%)」の方が多い。

「女性」で最も回答が多かったものは「公民館や生涯学習センターを利用する(38.7%)」であり、「男性(25.7%)」を13.0ポイント上回っている。

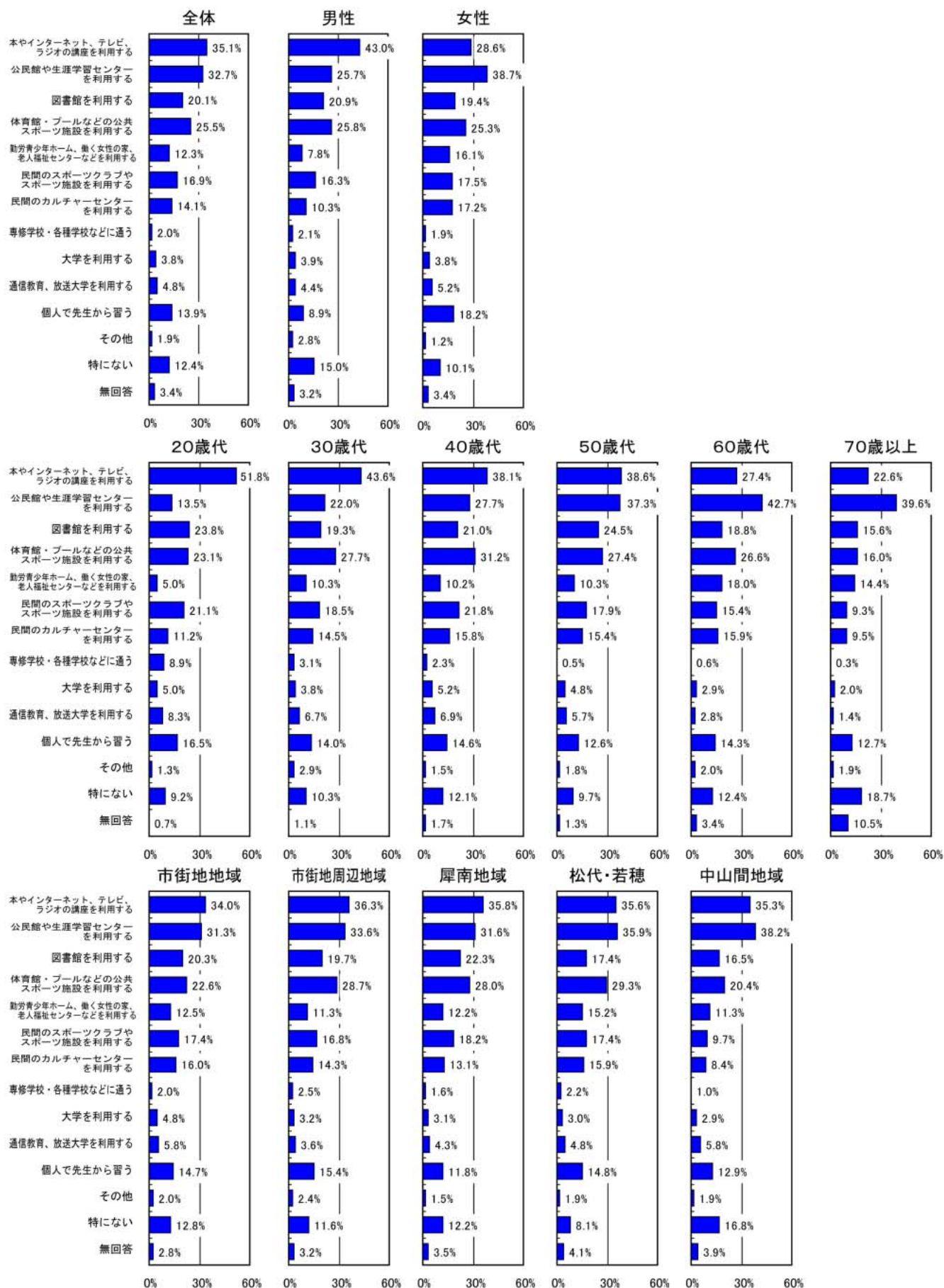
このほか、「勤労青少年ホーム、働く女性の家、老人福祉センターなどを利用する」、「民間のカルチャーセンターを利用する」、「個人で先生から習う」についても、「女性」の回答割合が「男性」を上回っている。

年代別でみると、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」は年代が低くなるにしたがって回答割合が高くなる傾向にあり、「20歳代」では51.8%に達している。

「専修学校・各種学校に通う」については、「20歳代」で8.9%の回答が見られたが、それ以外の年代では非常に低い割合となった。

一方、「公民館や生涯学習センターを利用する」については年代が高くなるにしたがって回答割合も高くなる傾向にあり、「20歳代」が13.5%であるのに対し、「60歳代」では42.7%と大きく違いが見られる。

地域別では、傾向に大きな違いは見られないが、「民間のスポーツクラブやスポーツ施設を利用する」および「民間のカルチャーセンターを利用する」という回答は「中山間地域」だけが1割に達しない結果となっている。

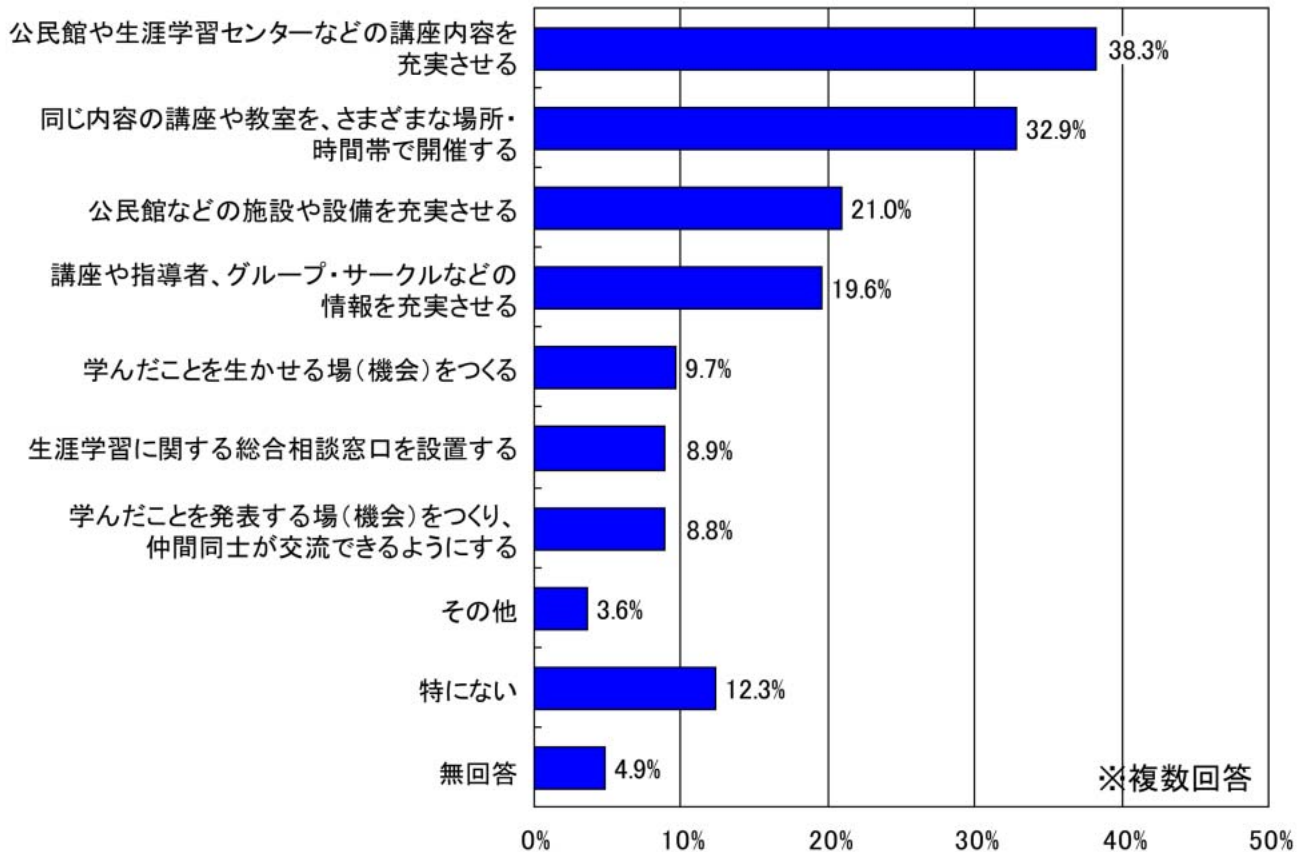


生涯学習の充実に向けて ～「講座内容の充実」が最多～

問 15 生涯学習活動をさらに充実させるため、長野市が特に力を入れて取り組むべきものは何だと思いますか。次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

			公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる	同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する	公民館などの施設や設備を充実させる	学んだことを発表する場（機会）をつくり、仲間同士が交流できるようにする	学んだことを生かせる場（機会）をつくる	講座や指導者、グループ・サークルなどの情報を充実させる	生涯学習に関する総合相談窓口を設置する	その他	特にない	無回答	対象
全体		度数	1,312	1,127	719	303	332	673	304	125	423	167	3,426
		割合	38.3%	32.9%	21.0%	8.8%	9.7%	19.6%	8.9%	3.6%	12.3%	4.9%	-
性別	男性	度数	517	418	324	150	166	319	153	75	234	70	1,556
		割合	33.2%	26.9%	20.8%	9.6%	10.7%	20.5%	9.8%	4.8%	15.0%	4.5%	-
	女性	度数	790	706	392	153	165	354	148	50	188	94	1,858
		割合	42.5%	38.0%	21.1%	8.2%	8.9%	19.1%	8.0%	2.7%	10.1%	5.1%	-
年代	20歳代	度数	104	108	44	23	42	76	31	13	36	4	303
		割合	34.3%	35.6%	14.5%	7.6%	13.9%	25.1%	10.2%	4.3%	11.9%	1.3%	-
	30歳代	度数	184	214	85	34	53	140	45	27	54	13	523
		割合	35.2%	40.9%	16.3%	6.5%	10.1%	26.8%	8.6%	5.2%	10.3%	2.5%	-
	40歳代	度数	235	229	105	49	70	127	50	21	60	13	596
		割合	39.4%	38.4%	17.6%	8.2%	11.7%	21.3%	8.4%	3.5%	10.1%	2.2%	-
	50歳代	度数	239	217	114	65	62	140	71	26	57	13	609
		割合	39.2%	35.6%	18.7%	10.7%	10.2%	23.0%	11.7%	4.3%	9.4%	2.1%	-
	60歳代	度数	318	247	199	76	69	137	75	25	111	42	798
		割合	39.8%	31.0%	24.9%	9.5%	8.6%	17.2%	9.4%	3.1%	13.9%	5.3%	-
	70歳以上	度数	229	108	172	56	35	53	31	13	103	82	589
		割合	38.9%	18.3%	29.2%	9.5%	5.9%	9.0%	5.3%	2.2%	17.5%	13.9%	-
地域区分	市街地地域	度数	470	380	241	111	116	259	106	48	160	55	1,221
		割合	38.5%	31.1%	19.7%	9.1%	9.5%	21.2%	8.7%	3.9%	13.1%	4.5%	-
	市街地周辺地域	度数	279	242	161	54	77	143	64	21	75	33	714
		割合	39.1%	33.9%	22.5%	7.6%	10.8%	20.0%	9.0%	2.9%	10.5%	4.6%	-
	犀南地域	度数	335	312	187	59	71	173	84	38	109	43	880
	割合	38.1%	35.5%	21.3%	6.7%	8.1%	19.7%	9.5%	4.3%	12.4%	4.9%	-	
	松代・若穂	度数	100	91	53	39	31	51	24	6	30	16	270
	割合	37.0%	33.7%	19.6%	14.4%	11.5%	18.9%	8.9%	2.2%	11.1%	5.9%	-	
	中山間地域	度数	119	90	72	37	33	40	22	11	46	17	309
	割合	38.5%	29.1%	23.3%	12.0%	10.7%	12.9%	7.1%	3.6%	14.9%	5.5%	-	

生涯学習活動の充実のため、特に力を入れて取り組むべきものとしては、「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる（38.3%）」、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する（32.9%）」の順となった。

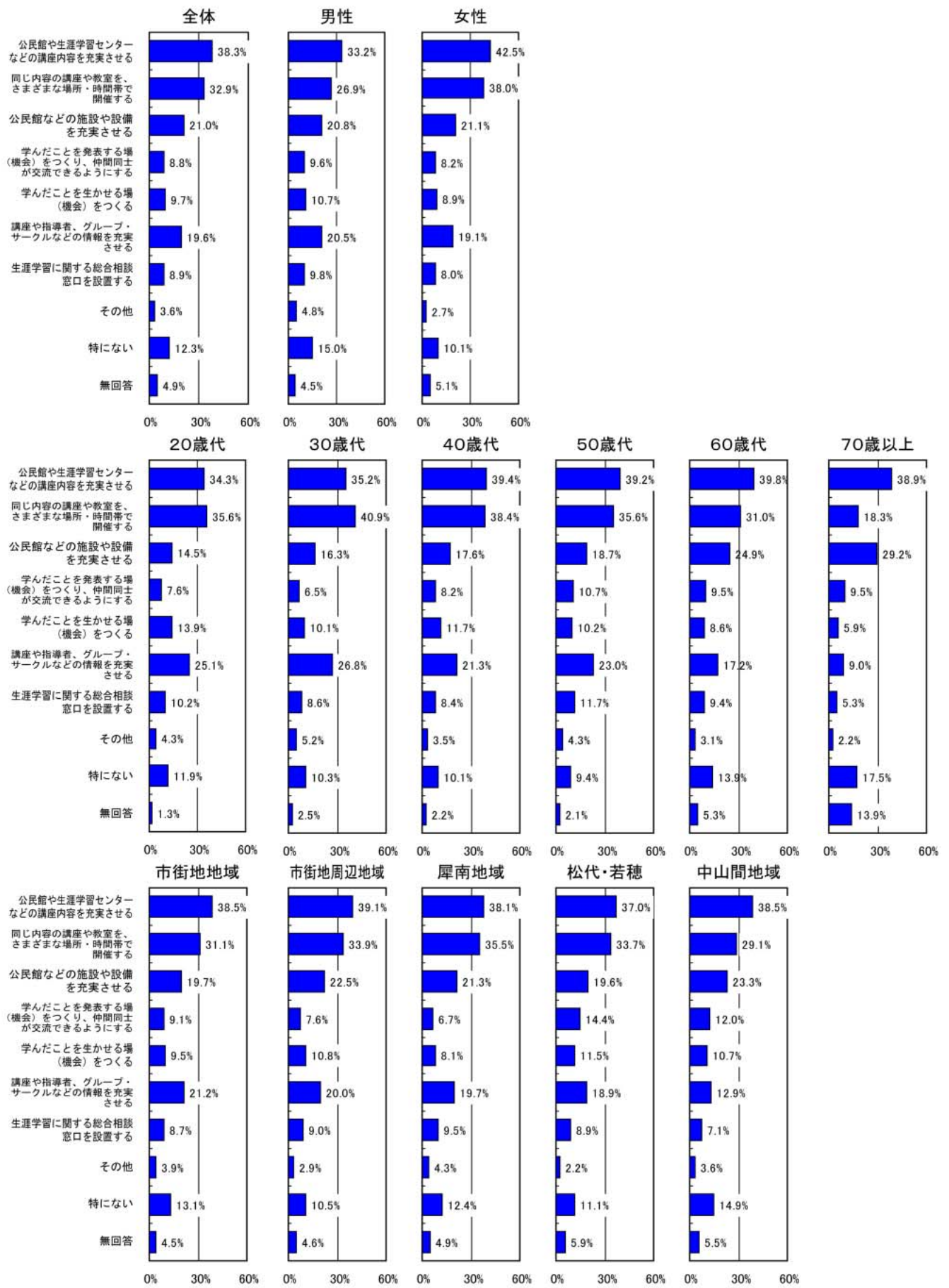


男女別でみると、「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる」および「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」という回答は、ともに「男性」より「女性」の割合が高い。

年代別でみると、「20歳代」と「30歳代」では「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」が最多であるのに対し、それ以外の年代では「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる」が最多となった。なお、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」については、「30歳代」が40.9%であるのに対し、「70歳以上」では18.3%であり、20ポイント以上の差がついている。

「公民館などの施設や設備を充実させる」は年代が高くなるにしたがって回答割合も高くなっている。一方で、「学んだことを生かせる場(機会)をつくる」および「講座や指導者、グループ・サークルなどの情報を充実させる」については、年代が低くなるにしたがって回答割合は高くなる傾向にある。

地域別では、傾向に大きな違いは見られないが、「学んだことを発表する場(機会)をつくり、仲間同士が交流できるようにする」という回答は、「松代・若穂(14.4%)」と「中山間地域(12.0%)」が比較的多く、その他の地域では1割に達しない結果となっている。



その他身近な生活に関することについて（第四次長野市総合計画 施策 指標項目）

週1回以上の運動 ～「行っている」前年度より2.0ポイント増「52.8%」～

問16 あなたは、体を動かす運動（1日30分以上）をどのくらい行っていますか。次の中から1つだけ○をしてください。

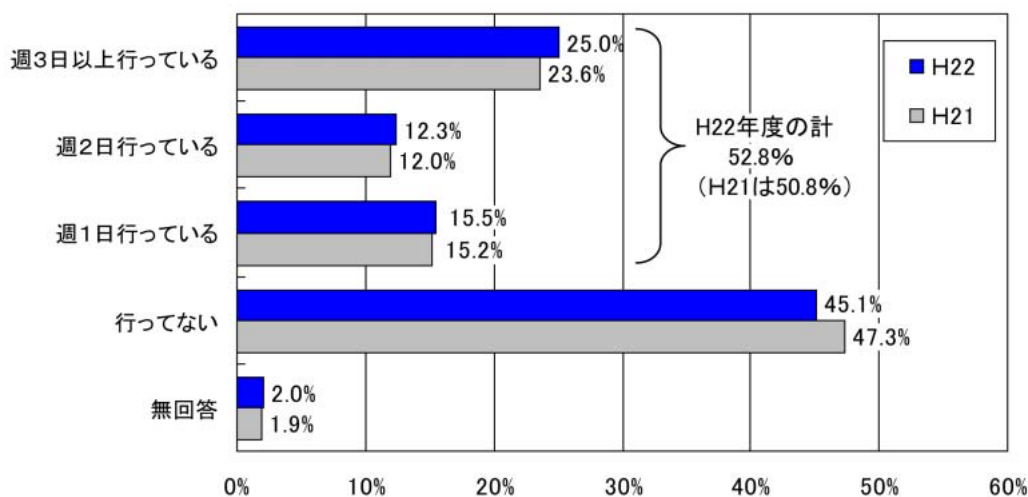
施策番号 441-01 生涯スポーツの振興		
指標項目	現状値（H18）	目標値（H23）
週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	52.5%	67.5%

		週3日以上行っている	週2日行っている	週1日行っている	行っていない	無回答	合計	
全体	度数	857	423	531	1,545	70	3,426	
	割合	25.0%	12.3%	15.5%	45.1%	2.0%	100.0%	
性別	男性	度数	432	198	257	638	31	1,556
		割合	27.8%	12.7%	16.5%	41.0%	2.0%	100.0%
	女性	度数	422	225	273	902	36	1,858
		割合	22.7%	12.1%	14.7%	48.5%	1.9%	100.0%
年代	20歳代	度数	62	21	68	150	2	303
		割合	20.5%	6.9%	22.4%	49.5%	0.7%	100.0%
	30歳代	度数	61	46	95	315	6	523
		割合	11.7%	8.8%	18.2%	60.2%	1.1%	100.0%
	40歳代	度数	96	60	105	329	6	596
		割合	16.1%	10.1%	17.6%	55.2%	1.0%	100.0%
	50歳代	度数	137	75	91	299	7	609
		割合	22.5%	12.3%	14.9%	49.1%	1.1%	100.0%
	60歳代	度数	259	144	103	270	22	798
		割合	32.5%	18.0%	12.9%	33.8%	2.8%	100.0%
	70歳以上	度数	242	76	67	177	27	589
		割合	41.1%	12.9%	11.4%	30.1%	4.6%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	320	172	198	508	23	1,221
		割合	26.2%	14.1%	16.2%	41.6%	1.9%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	176	83	111	330	14	714
		割合	24.6%	11.6%	15.5%	46.2%	2.0%	100.0%
	犀南地域	度数	223	114	129	395	19	880
		割合	25.3%	13.0%	14.7%	44.9%	2.2%	100.0%
	松代・若穂	度数	64	26	42	135	3	270
		割合	23.7%	9.6%	15.6%	50.0%	1.1%	100.0%
	中山間地域	度数	66	26	46	161	10	309
		割合	21.4%	8.4%	14.9%	52.1%	3.2%	100.0%

「1日30分以上の運動」については、「行っていない」という回答が最も多い。続いて、「週3日以上行っている」、「週1日行っている」、「週2日行っている」の順になっている。

平成21年度の調査結果と比較すると、運動を「行っていない」割合は前年度の47.3%から今年度45.1%に減少（▲2.2ポイント）した。

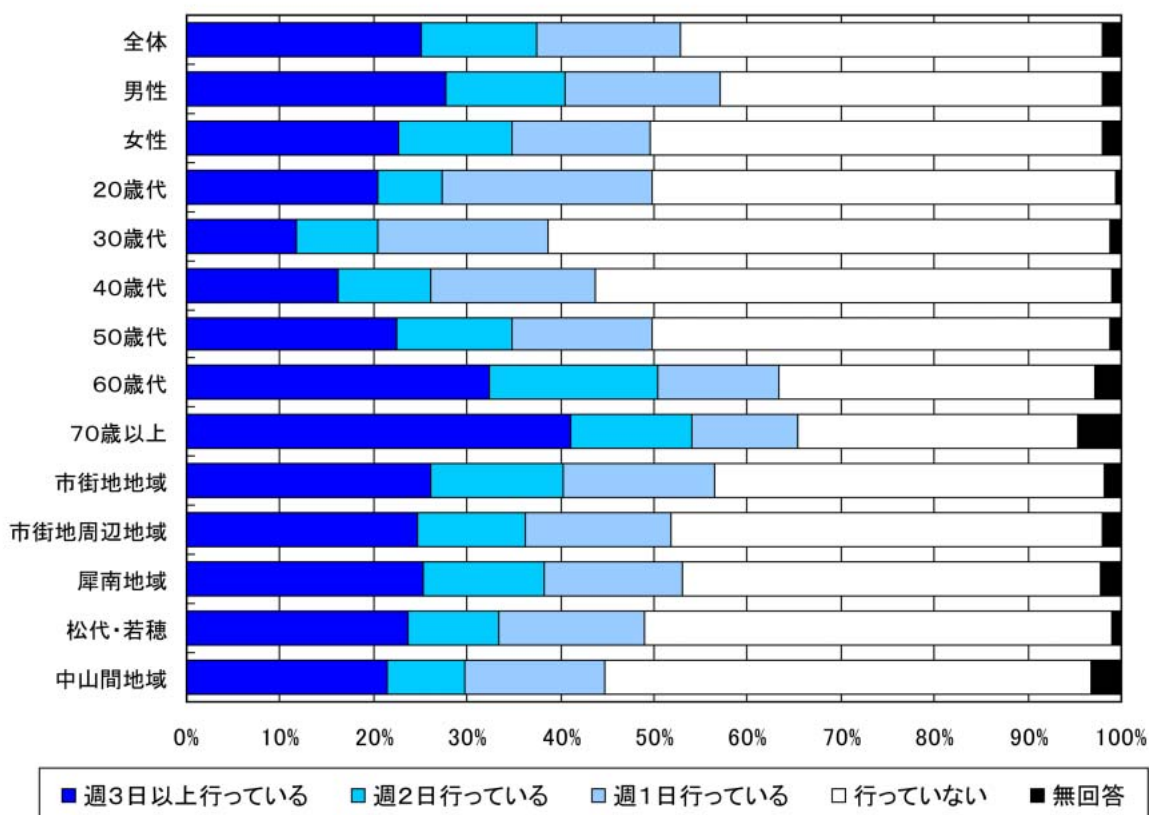
一方、「週1日行っている」から「週3日以上行っている」までを合計した「運動を行っている」割合については、前年度50.8%から今年度52.8%に増加（+2.0ポイント）し、運動を「行っていない」割合を上回った。



男女別にみると、「行っていない」という割合は「男性 (41.0%)」よりも「女性 (48.5%)」の方が高く、「週1日行っている」から「週3日以上行っている」までを合計した「運動を行っている」割合については、「女性 (49.5%)」より「男性 (57.0%)」の方が高い。

年代別にみると、「行っていない」割合は「20歳代」から「50歳代」にかけて約半数以上である一方、「60歳代 (33.8%)」および「70歳以上 (30.1%)」の割合は低い。

「週3日以上行っている」については、「70歳以上 (41.1%)」が最も多く、「30歳代 (11.7%)」と比較すると29.4ポイントの開きがある。



ホテルを見かけた市民 ～前年度より2.0ポイント増「18.2%」～

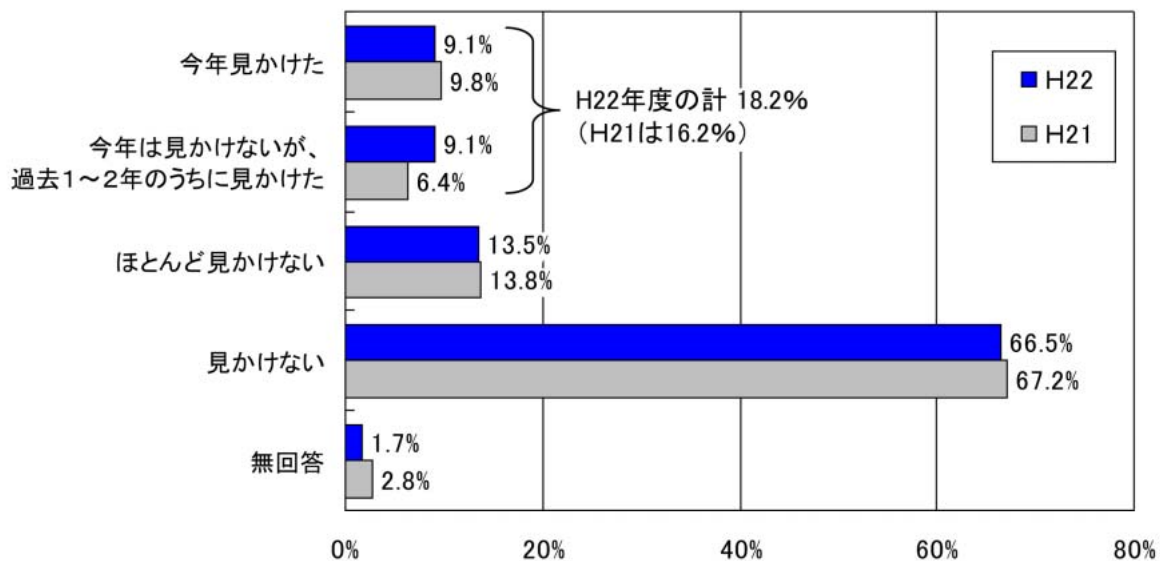
問 17 お住まいの地区では、ホテルを見かけることがありますか。次の中から1つだけ○をしてください。

施策番号 212-01 身近な自然環境の保全と創造		
指標項目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
ホテルを見かけることがある市民の割合	17.3%	30.0%

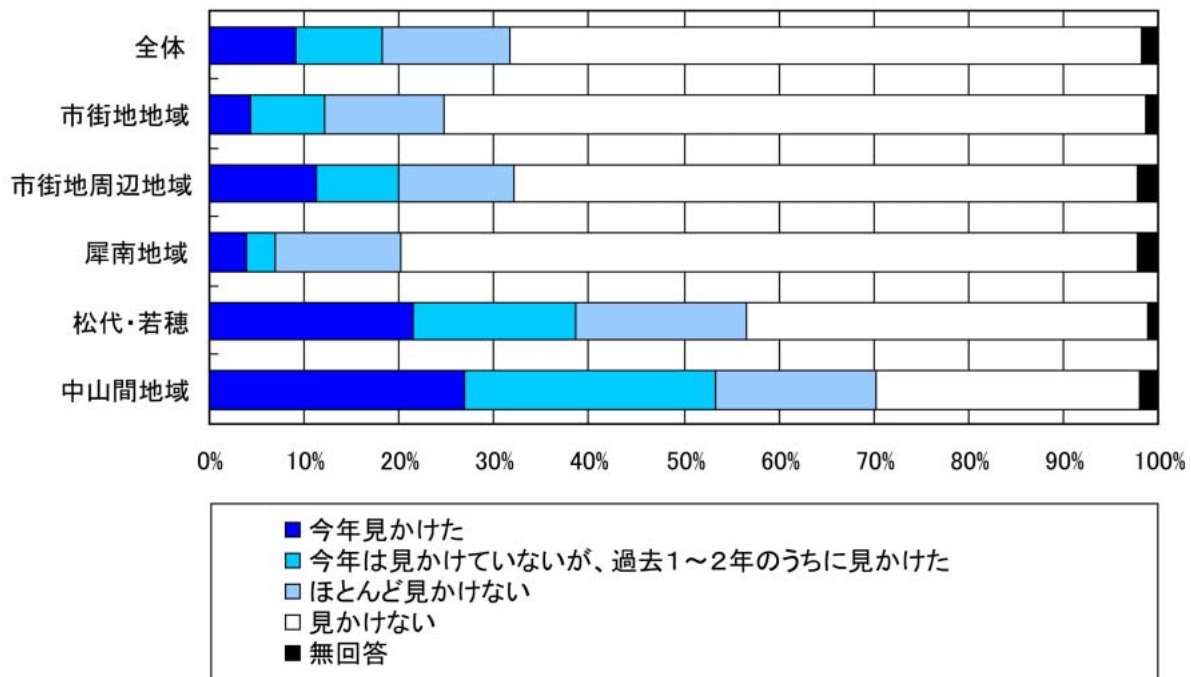
		今年見かけた	今年は見かけないが、過去1～2年のうちに見かけた	ほとんど見かけない	見かけない	無回答	合計		
		度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
全体	度数	313	312	462	2,280	59	3,426		
	割合	9.1%	9.1%	13.5%	66.5%	1.7%	100.0%		
地域区分	市街地地域	度数	54	94	155	903	15	1,221	
		割合	4.4%	7.7%	12.7%	74.0%	1.2%	100.0%	
	市街地周辺地域	度数	81	61	87	470	15	714	
		割合	11.3%	8.5%	12.2%	65.8%	2.1%	100.0%	
	犀南地域	度数	35	26	116	684	19	880	
		割合	4.0%	3.0%	13.2%	77.7%	2.2%	100.0%	
	松代・若穂	度数	58	46	49	114	3	270	
		割合	21.5%	17.0%	18.1%	42.2%	1.1%	100.0%	
	中山間地域	度数	83	82	52	86	6	309	
		割合	26.9%	26.5%	16.8%	27.8%	1.9%	100.0%	

「住んでいる地区でホテルを見かけることがあるか」については、「見かけない」という回答が最も多いものの、平成21年度の調査結果と比較すると、「見かけない」という回答は前年度 67.2%から今年度 66.5%に減少（▲0.7ポイント）した。

一方で「今年見かけた」および「今年は見かけないが、過去1～2年のうちに見かけた」を合計した「見かけた」市民の割合は、前年度 16.2%から今回 18.2%に増加（+2.0ポイント）している。



地域別でみると、「今年見かけた」および「今年は見かけないが、過去1～2年のうちに見かけた」を合計した「見かけた」市民の割合が最も高かった地域は「中山間地域」で、5割を超えた(53.4%)。「見かけた」市民の割合が最も少なかった地域は「犀南地域(7.0%)」で、「中山間地域」と比較すると46.4ポイントの大きな開きが見られる。

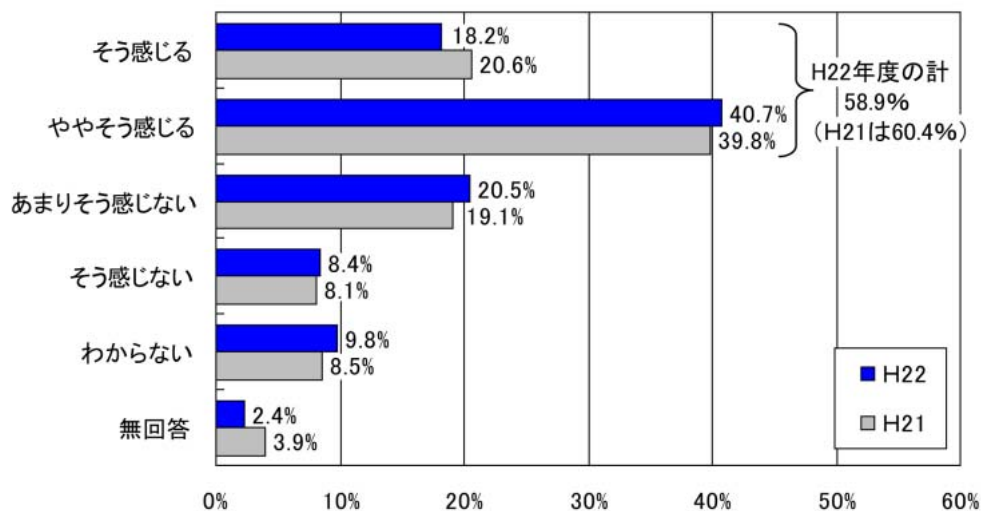


市政情報を手軽に入手 ～「入手できている」前年度より1.5ポイント減「58.9%」～

問 18 あなたは、「広報ながの」や「長野市ホームページ」などを通じ、必要な市政情報を手軽に入手できていると感じますか。次の中から1つだけ○をしてください。

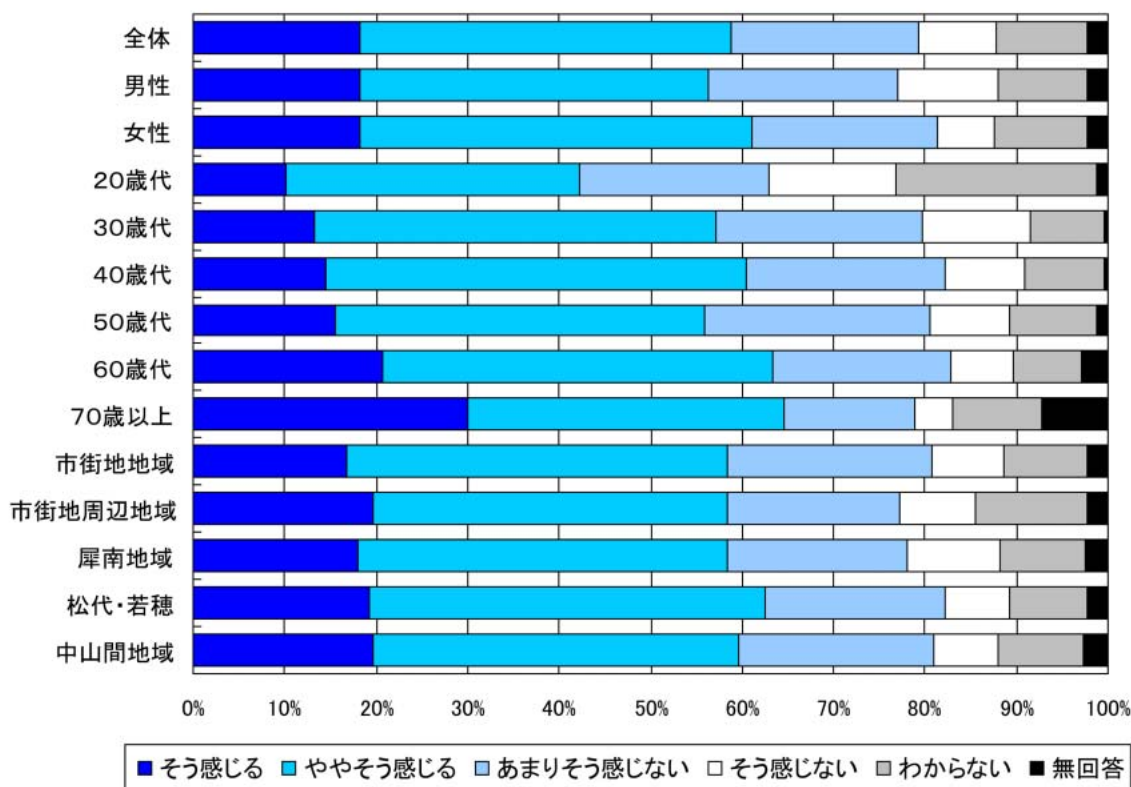
施策番号 011-02 開かれた市政の推進		
指標項目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
市政情報が手軽に入手できると感じる市民の割合	69.7%	現状維持

		そう感じる	ややそう感じる	あまりそう感じない	そう感じない	わからない	無回答	合計	
全体	度数	624	1,394	702	288	337	81	3,426	
	割合	18.2%	40.7%	20.5%	8.4%	9.8%	2.4%	100.0%	
性別	男性	度数	283	593	324	170	151	35	1,556
		割合	18.2%	38.1%	20.8%	10.9%	9.7%	2.2%	100.0%
	女性	度数	338	797	376	118	185	44	1,858
		割合	18.2%	42.9%	20.2%	6.4%	10.0%	2.4%	100.0%
年代	20歳代	度数	31	97	63	42	66	4	303
		割合	10.2%	32.0%	20.8%	13.9%	21.8%	1.3%	100.0%
	30歳代	度数	69	230	118	62	42	2	523
		割合	13.2%	44.0%	22.6%	11.9%	8.0%	0.4%	100.0%
	40歳代	度数	86	274	130	52	52	2	596
		割合	14.4%	46.0%	21.8%	8.7%	8.7%	0.3%	100.0%
	50歳代	度数	94	247	149	53	59	7	609
		割合	15.4%	40.6%	24.5%	8.7%	9.7%	1.1%	100.0%
	60歳代	度数	166	340	155	54	60	23	798
		割合	20.8%	42.6%	19.4%	6.8%	7.5%	2.9%	100.0%
	70歳以上	度数	177	203	85	24	57	43	589
		割合	30.1%	34.5%	14.4%	4.1%	9.7%	7.3%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	206	508	271	96	113	27	1,221
		割合	16.9%	41.6%	22.2%	7.9%	9.3%	2.2%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	140	277	135	58	88	16	714
		割合	19.6%	38.8%	18.9%	8.1%	12.3%	2.2%	100.0%
	犀南地域	度数	159	355	173	89	83	21	880
		割合	18.1%	40.3%	19.7%	10.1%	9.4%	2.4%	100.0%
	松代・若穂	度数	52	117	53	19	23	6	270
		割合	19.3%	43.3%	19.6%	7.0%	8.5%	2.2%	100.0%
	中山間地域	度数	61	123	66	22	29	8	309
		割合	19.7%	39.8%	21.4%	7.1%	9.4%	2.6%	100.0%



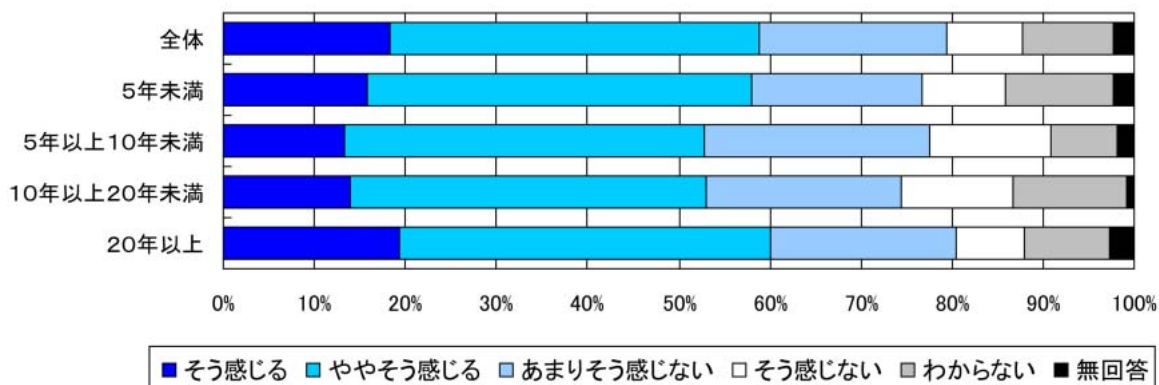
「必要な市政情報を手軽に入手できていると感じるか」については、「ややそう感じる (40.7%)」という回答が最も多く、「あまりそう感じない (20.5%)」、「そう感じる (18.2%)」と続いている。

平成21年度の調査結果と比較すると、「そう感じる」、「ややそう感じる」の合計割合は前年度60.4%から今年度58.9%に減少 (▲1.5ポイント) している。



居住年数別に回答結果を集計すると、下表のとおりとなる。

		そう感じる	ややそう感じる	あまりそう感じない	そう感じない	わからない	無回答	合計	
全体	度数	624	1,394	702	288	337	81	3,426	
	割合	18.2%	40.7%	20.5%	8.4%	9.8%	2.4%	100.0%	
居住年数	5年未満	度数	49	131	58	28	37	7	310
		割合	15.8%	42.3%	18.7%	9.0%	11.9%	2.3%	100.0%
	5年以上10年未満	度数	29	86	54	29	16	4	218
		割合	13.3%	39.4%	24.8%	13.3%	7.3%	1.8%	100.0%
	10年以上20年未満	度数	46	130	71	41	41	3	332
		割合	13.9%	39.2%	21.4%	12.3%	12.3%	0.9%	100.0%
	20年以上	度数	492	1,035	516	189	241	66	2,539
		割合	19.4%	40.8%	20.3%	7.4%	9.5%	2.6%	100.0%



行政施策の満足度（※第四次長野市総合計画 基本施策 アンケート指標）

～生活環境の良さには満足、雇用の確保が大きな課題に～

問 19 あなたの日常生活を思い出していただき、No. 1 からNo.43 のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号 1 つに○をつけてください。実感や印象、経験でお答えください。
 （選択肢：「1. そう思う」「2. ややそう思う」「3. あまりそう思わない」「4. そう思わない」「5. わからない」）

【「そう思う」、「ややそう思う」合計上位 5 項目】

順位	項 目	そう思う	やや思う	思う合計
1	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	28.1%	41.7%	69.8%
2	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	23.2%	45.3%	68.5%
3	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	18.0%	48.3%	66.3%
4	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	15.5%	48.3%	63.8%
5	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	16.3%	41.7%	58.1%

【「そう思う」、「ややそう思う」合計下位 5 項目】

順位	項 目	そう思う	やや思う	思う合計
39	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1.6%	13.7%	15.3%
40	外国の人や文化との交流が行われている	1.8%	13.4%	15.3%
41	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	1.3%	12.9%	14.3%
42	工業や製造業に活気がある	0.7%	7.9%	8.6%
43	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある	0.6%	5.1%	5.7%

「日常生活を思い出し、各項目についてどのように思うか」についての回答結果から、「そう思う」、「ややそう思う」という回答割合の合計上位 5 項目、下位 5 項目は上記のとおりである。

市民の満足度が最も高い項目は、「豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある（思う合計：69.8%）」ことであった。このほか、「生活廃水や汚水の処理が適切に行われている（68.5%）」、「資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである（66.3%）」、「騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている（63.8%）」が 6 割以上の満足度を得ており、生活環境の良さについては、多くの市民が満足している結果となっている。

一方で、仕事への就きやすさや、工業や製造業の活気などについては満足度が低い状況となっている。雇用の確保が大きな課題として挙げられる。

※第四次長野市総合計画

第四次長野市総合計画は、「～善光寺平に結ばれる～人と地域がきらめくまち“ながの”」をまちづくりの目標（都市像）に定め、市民福祉の更なる向上と新たなまちづくりを展望した総合的な市政運営を行うための基本方針（長野市の最高方針）である。平成 19 年度を初年度として、平成 28 年度を目標としている。

総合計画は、まちづくりの方針や政策を示す「基本構想」と、施策の展開や取組内容を示す「基本計画」、具体的な事業を示す「実施計画」で構成されている。

前期基本計画における基本施策には「アンケート指標」を設定し、市民の皆さんによる評価の視点を導入している。

【「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目】

順位	項目	あまりそう 思わない	そう思わない	思わない合計
1	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある	31.1%	47.4%	78.6%
2	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	35.8%	37.9%	73.6%
3	工業や製造業に活気がある	35.0%	34.7%	69.7%
4	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている	37.5%	31.1%	68.6%
5	個性的で魅力的なお店が増えている	34.5%	33.3%	67.8%

【「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目】

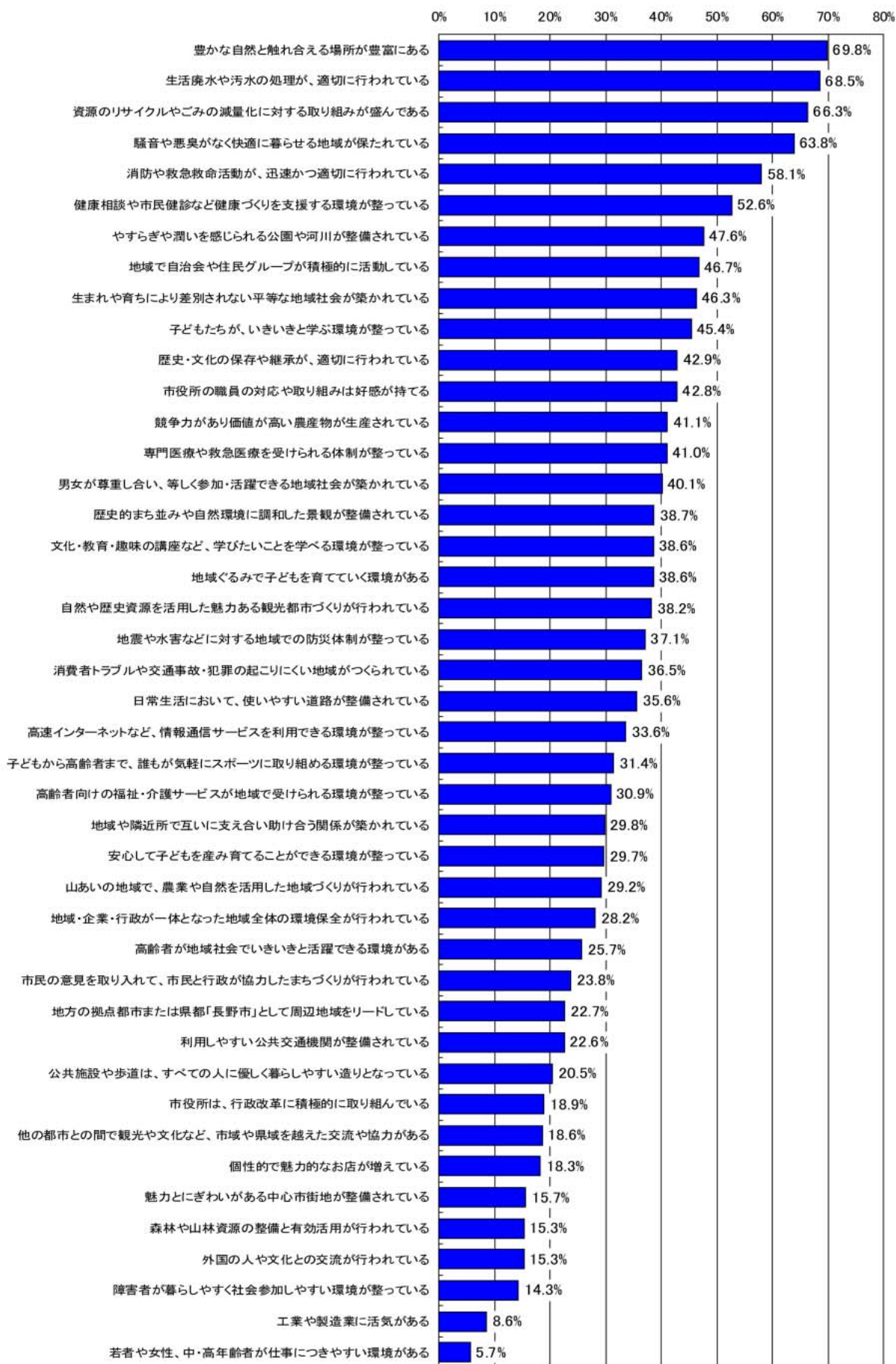
順位	項目	あまりそう 思わない	そう思わない	思わない合計
39	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	17.3%	9.7%	27.0%
40	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	18.7%	6.4%	25.1%
41	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	14.8%	7.2%	22.0%
42	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	14.8%	3.9%	18.7%
43	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	12.2%	4.7%	16.9%

「日常生活を思い出し、各項目についてどのように思うか」についての回答結果から、「あまりそう思わない」、「そう思わない」という回答割合の合計上位5項目、下位5項目は上記のとおりである。

仕事への就きやすさや、工業や製造業の活気などについて、満足度が低い状況となっているほか、「魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている（思わない合計：73.6%）」ことに対する満足度の低さが目立っている。

一方、「思わない」合計割合が低い5項目については、順位は異なるものの、前頁の「満足度が高い5項目」と同じ項目が入っている。

「そう思う」、「ややそう思う」の割合の降順は、下図のとおりである。



設問番号	設問項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
1	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	3.2%	20.6%	33.7%	24.9%	12.2%	5.3%
2	地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	9.7%	37.0%	25.1%	12.6%	10.5%	5.1%
3	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	4.0%	18.7%	35.8%	24.4%	11.2%	5.9%
4	他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	2.4%	16.2%	36.4%	20.2%	18.8%	6.1%
5	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	2.9%	16.0%	31.2%	26.4%	17.8%	5.7%
6	市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	10.3%	32.5%	22.8%	18.3%	11.8%	4.2%
7	安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	4.0%	25.7%	30.4%	20.7%	13.5%	5.8%
8	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	4.4%	26.5%	28.8%	19.7%	15.8%	4.8%
9	高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	2.9%	22.9%	32.7%	20.0%	16.3%	5.2%
10	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	1.3%	12.9%	34.2%	24.3%	21.8%	5.4%
11	地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている	3.6%	26.2%	33.6%	22.1%	9.3%	5.2%
12	健康相談や市民健診など健康づくりを支援する環境が整っている	9.3%	43.3%	21.8%	9.6%	11.1%	4.9%
13	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	7.3%	33.6%	29.0%	13.8%	10.8%	5.3%
14	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	10.0%	36.3%	20.1%	11.4%	16.9%	5.3%
15	男女が尊重し合い、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	6.7%	33.5%	26.3%	12.0%	16.6%	5.0%
16	地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	3.2%	25.0%	33.5%	14.9%	18.0%	5.5%
17	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	28.1%	41.7%	14.8%	7.2%	3.3%	4.9%
18	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	18.0%	48.3%	18.7%	6.4%	4.2%	4.4%
19	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	15.5%	48.3%	17.3%	9.7%	4.1%	5.0%
20	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	23.2%	45.3%	12.2%	4.7%	9.7%	4.9%
21	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	10.5%	37.1%	29.7%	13.1%	4.9%	4.8%
22	地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	6.3%	30.8%	29.3%	10.0%	19.4%	4.3%
23	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	16.3%	41.7%	14.8%	3.9%	19.1%	4.2%
24	消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	5.3%	31.3%	30.0%	11.1%	17.7%	4.7%
25	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	8.0%	37.5%	25.1%	9.9%	14.6%	5.0%
26	地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	5.2%	33.4%	32.4%	12.2%	12.4%	4.4%
27	文化・教育・趣味の講座など、学びたいことを学べる環境が整っている	5.2%	33.4%	32.4%	12.2%	12.4%	4.4%
28	歴史・文化の保存や継承が、適切に行われている	7.4%	35.4%	26.9%	8.2%	17.0%	5.0%
29	子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	5.0%	26.4%	34.2%	16.5%	13.2%	4.8%
30	外国の人や文化との交流が行われている	1.8%	13.4%	32.3%	21.4%	25.8%	5.2%
31	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	5.1%	33.0%	30.8%	13.2%	12.8%	5.0%
32	競争力があり価値が高い農産物が生産されている	8.6%	32.5%	27.5%	11.9%	14.5%	5.0%
33	山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	4.6%	24.6%	29.7%	14.1%	21.9%	5.1%
34	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1.6%	13.7%	33.1%	20.2%	25.9%	5.5%
35	工業や製造業に活気がある	0.7%	7.9%	35.0%	34.7%	16.3%	5.4%
36	個性的で魅力的なお店が増えている	2.3%	15.9%	34.5%	33.3%	8.8%	5.2%
37	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある	0.6%	5.1%	31.1%	47.4%	11.0%	4.7%
38	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	2.2%	13.5%	35.8%	37.9%	5.8%	4.9%
39	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている	1.9%	18.6%	37.5%	31.1%	6.0%	4.9%
40	歴史的まち並みや自然環境に調和した景観が整備されている	4.0%	34.7%	33.8%	15.7%	6.5%	5.3%
41	利用しやすい公共交通機関が整備されている	2.7%	19.9%	33.7%	33.8%	5.2%	4.8%
42	日常生活において、使いやすい道路が整備されている	4.9%	30.6%	31.1%	24.7%	3.9%	4.8%
43	高速インターネットなど、情報通信サービスを利用できる環境が整っている	5.8%	27.8%	24.1%	13.5%	23.7%	5.2%

【性別・年代別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目

順位	全体 (n=3,426)	男性 (n=1,556)	女性 (n=1,858)	20歳代 (n=303)	30歳代 (n=523)	40歳代 (n=596)	50歳代 (n=609)	60歳代 (n=798)	70歳以上 (n=589)
1	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (69.8%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (69.2%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (71.5%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (76.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (76.4%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (76.9%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (72.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (72.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (66.0%)
2	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (68.5%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (68.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (68.2%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (69.6%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (67.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (69.0%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (71.2%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (70.1%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (65.0%)
3	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (66.3%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (64.0%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (68.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (61.1%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (67.5%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (68.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (69.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (67.4%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (59.1%)
4	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (63.8%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (62.8%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (64.7%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (59.4%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (57.8%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (67.3%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (64.5%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (63.5%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (54.2%)
5	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (58.1%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (60.6%)	健康相談や市民健診など健康づくりを支援する環境が整っている (57.9%)	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている (52.5%)	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている (57.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (61.4%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (60.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (63.5%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (54.0%)

【地域別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目

順位	全体 (n=3,426)	市街地地域 (n=1,221)	市街地周辺地域 (n=714)	犀南地域 (n=880)	松代・若穂 (n=270)	中山間地域 (n=309)
1	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (69.8%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (69.2%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (70.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (69.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (73.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (72.5%)
2	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (68.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (68.5%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (69.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (68.9%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (68.2%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (66.3%)
3	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (66.3%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (67.3%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (66.3%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (66.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (65.2%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (61.8%)
4	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (63.8%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (65.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (65.2%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (62.3%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (64.9%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (60.6%)
5	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (58.1%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (57.5%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (57.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (56.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (64.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (58.6%)

【性別・年代別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目

順位	全体 (n=3,426)	男性 (n=1,556)	女性 (n=1,858)	20歳代 (n=303)	30歳代 (n=523)	40歳代 (n=596)	50歳代 (n=609)	60歳代 (n=798)	70歳以上 (n=589)
39	外国の人や文化との交流が行われている (15.3%)	外国の人や文化との交流が行われている (14.1%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (16.3%)	外国の人や文化との交流が行われている (17.2%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる (12.8%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (15.9%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (15.9%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (14.8%)	個性的で魅力的なお店が増えている (12.9%)
40	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (15.3%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (14.0%)	外国の人や文化との交流が行われている (16.2%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる (16.5%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (11.5%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (14.9%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (14.9%)	個性的で魅力的なお店が増えている (14.6%)	外国の人や文化との交流が行われている (12.9%)
41	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (14.3%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (13.3%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (15.1%)	工業や製造業に活気がある (13.6%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (11.3%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (13.8%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (13.8%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (11.9%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (12.7%)
42	工業や製造業に活気がある (8.6%)	工業や製造業に活気がある (9.7%)	工業や製造業に活気がある (7.8%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (11.9%)	工業や製造業に活気がある (9.8%)	工業や製造業に活気がある (10.9%)	工業や製造業に活気がある (10.9%)	工業や製造業に活気がある (6.2%)	工業や製造業に活気がある (8.1%)
43	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (5.7%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (6.1%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (5.3%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (8.6%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (5.8%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (6.3%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (5.9%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (3.6%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (6.1%)

【地域別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目

順位	全体 (n=3,426)	市街地地域 (n=1,221)	市街地周辺地域 (n=714)	犀南地域 (n=880)	松代・若穂 (n=270)	中山間地域 (n=309)
39	外国の人や文化との交流が行われている (15.3%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (16.5%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (14.3%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (14.6%)	個性的で魅力的なお店が増えている (15.1%)	外国の人や文化との交流が行われている (16.9%)
40	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (15.3%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (15.7%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (13.6%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (14.3%)	外国の人や文化との交流が行われている (14.8%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (14.5%)
41	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (14.3%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (13.4%)	外国の人や文化との交流が行われている (13.0%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (13.8%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (13.7%)	個性的で魅力的なお店が増えている (13.0%)
42	工業や製造業に活気がある (8.6%)	工業や製造業に活気がある (8.9%)	工業や製造業に活気がある (9.0%)	工業や製造業に活気がある (9.0%)	工業や製造業に活気がある (8.9%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (5.8%)
43	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (5.7%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (6.0%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (5.5%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (5.3%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (6.3%)	工業や製造業に活気がある (5.5%)

【性別・年代別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目

順位	全体 (n=3,426)	男性 (n=1,556)	女性 (n=1,858)	20歳代 (n=303)	30歳代 (n=523)	40歳代 (n=596)	50歳代 (n=609)	60歳代 (n=798)	70歳以上 (n=589)
1	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (78.6%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (78.6%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (78.7%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (78.2%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (84.0%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (80.5%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (86.3%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (82.0%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (63.5%)
2	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (73.6%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (75.6%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (72.1%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (74.3%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (81.8%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (80.5%)	工業や製造業に活気がある (79.4%)	工業や製造業に活気がある (73.6%)	個性的で魅力的なお店が増えている (55.8%)
3	工業や製造業に活気がある (69.7%)	工業や製造業に活気がある (75.5%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (68.3%)	利用しやすい公共交通機関が整備されている (71.3%)	工業や製造業に活気がある (73.2%)	利用しやすい公共交通機関が整備されている (75.9%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (77.0%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (73.3%)	工業や製造業に活気がある (54.2%)
4	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (68.6%)	個性的で魅力的なお店が増えている (71.2%)	利用しやすい公共交通機関が整備されている (66.6%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (70.0%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (72.5%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (73.6%)	利用しやすい公共交通機関が整備されている (74.2%)	個性的で魅力的なお店が増えている (71.4%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (52.1%)
5	個性的で魅力的なお店が増えている (67.8%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (69.3%)	個性的で魅力的なお店が増えている (64.9%)	個性的で魅力的なお店が増えている (68.3%)	利用しやすい公共交通機関が整備されている (72.3%)	工業や製造業に活気がある (71.3%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (74.1%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (70.7%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (51.1%)

【地域別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目

順位	全体 (n=3,426)	市街地地域 (n=1,221)	市街地周辺地域 (n=714)	犀南地域 (n=880)	松代・若穂 (n=270)	中山間地域 (n=309)
1	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (78.6%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (78.3%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (78.6%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (78.7%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (82.9%)	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある (76.0%)
2	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (73.6%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (75.5%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (75.3%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (73.7%)	利用しやすい公共交通機関が整備されている (73.3%)	工業や製造業に活気がある (72.5%)
3	工業や製造業に活気がある (69.7%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (69.7%)	工業や製造業に活気がある (70.7%)	利用しやすい公共交通機関が整備されている (71.7%)	個性的で魅力的なお店が増えている (71.5%)	個性的で魅力的なお店が増えている (69.2%)
4	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (68.6%)	工業や製造業に活気がある (68.0%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (70.5%)	工業や製造業に活気がある (70.3%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (71.1%)	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている (65.1%)
5	個性的で魅力的なお店が増えている (67.8%)	個性的で魅力的なお店が増えている (67.0%)	利用しやすい公共交通機関が整備されている (67.7%)	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている (69.4%)	工業や製造業に活気がある (69.2%)	利用しやすい公共交通機関が整備されている (62.8%)

【性別・年代別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目

順位	全体 (n=3,426)	男性 (n=1,556)	女性 (n=1,858)	20歳代 (n=303)	30歳代 (n=523)	40歳代 (n=596)	50歳代 (n=609)	60歳代 (n=798)	70歳以上 (n=589)
39	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (27.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (28.4%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (25.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (28.4%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (30.1%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (26.8%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (31.1%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (28.4%)	健康相談や市民健診など健康づくりを支援する環境が整っている (23.3%)
40	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (25.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (27.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (23.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (22.7%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (27.2%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (24.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (26.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (24.8%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (22.7%)
41	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (22.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (25.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (19.6%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (19.4%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (19.7%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (19.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (23.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (23.5%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (15.7%)
42	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (18.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (19.6%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (17.8%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (18.5%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (18.3%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (18.6%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (23.0%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (19.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (15.0%)
43	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (16.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (18.1%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (15.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (17.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (17.2%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (16.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (17.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (17.3%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (13.0%)

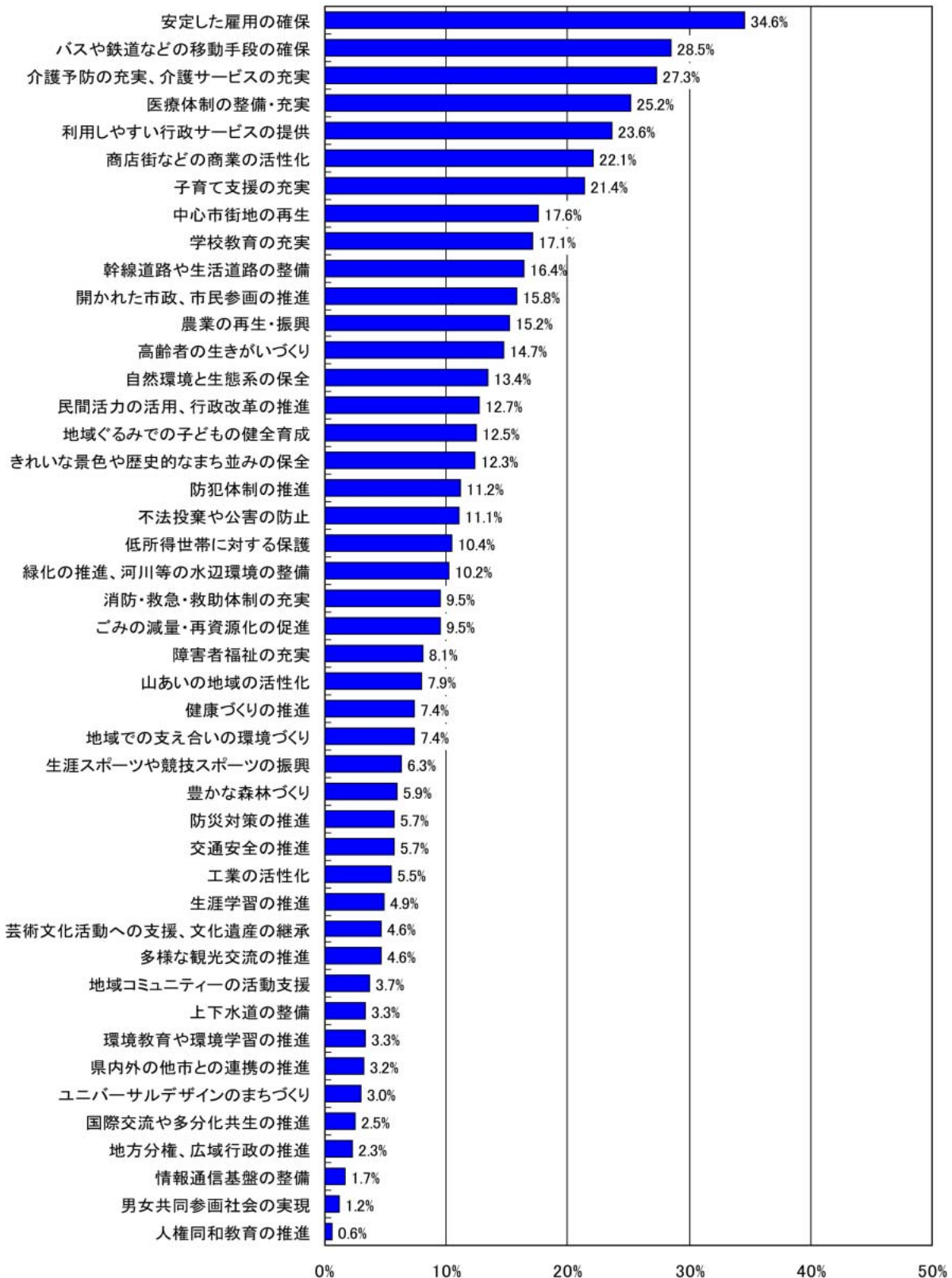
【地域別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目

順位	全体 (n=3,426)	市街地地域 (n=1,221)	市街地周辺地域 (n=714)	犀南地域 (n=880)	松代・若穂 (n=270)	中山間地域 (n=309)
39	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (27.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (26.4%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (25.9%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (29.2%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (27.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (27.2%)
40	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (25.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (24.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (25.2%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (25.4%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (24.8%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (25.2%)
41	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (22.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (22.5%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (23.4%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (22.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (24.1%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (22.0%)
42	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (18.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (17.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (18.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (20.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (18.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (18.5%)
43	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (16.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (15.2%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (15.7%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (17.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (17.8%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (17.5%)

行政施策の優先度

～「安定した雇用の確保」がトップに～

問20 住み良い長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を下記45項目の中から5つ選んでください。



「住みよい長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策」としては、平成 21 年度に引き続き、「安定した雇用の確保」が本年度の 1 位となった。なかなか改善が見られない厳しい雇用環境を表していると考えられる。

2 位も平成 21 年度に引き続き、「バスや鉄道などの移動手段の確保」となった。平成 22 年度は、バスや長野電鉄屋代線の実証運行・実証実験が行われたが、地域公共交通の活性化に対する市民の関心の高さが感じられる。

3 位は「介護予防の充実・介護サービスの充実」、4 位は「医療体制の整備・充実」となり、平成 21 年度と順位は入れ替わったものの、依然として福祉・健康分野への市民の関心が高いことがうかがえる。

なお、平成 21 年度は 24 位だった「開かれた市政、市民参画の推進」は、平成 22 年度は 11 位と大きく順位を上げた。これは、市民の意見や思いが行政に反映されることに対する市民の願いや期待感が表れたものと考えられる。

【性別・年代別順位】

順位	全体 (n=3,426)	男性 (n=1,556)	女性 (n=1,858)	20歳代 (n=303)	30歳代 (n=523)	40歳代 (n=596)	50歳代 (n=609)	60歳代 (n=798)	70歳以上 (n=589)
1	安定した雇用の確保 (34.6%)	安定した雇用の確保 (31.4%)	安定した雇用の確保 (37.1%)	安定した雇用の確保 (38.3%)	子育て支援の充実 (49.5%)	安定した雇用の確保 (36.7%)	安定した雇用の確保 (41.1%)	安定した雇用の確保 (34.5%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (31.1%)
2	バスや鉄道などの移動手段の確保 (28.5%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (25.4%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (31.3%)	子育て支援の充実 (36.0%)	安定した雇用の確保 (34.4%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (32.0%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (31.9%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (29.8%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (30.4%)
3	介護予防の充実、介護サービスの充実 (27.3%)	医療体制の整備・充実 (23.9%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (30.3%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (32.3%)	医療体制の整備・充実 (30.5%)	医療体制の整備・充実 (30.5%)	利用しやすい行政サービスの提供 (30.5%)	利用しやすい行政サービスの提供 (25.1%)	高齢者の生きがいがづくり (25.5%)
4	医療体制の整備・充実 (25.2%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (22.4%)	医療体制の整備・充実 (26.3%)	商店街などの商業の活性化 (29.4%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (26.8%)	学校教育の充実 (27.0%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (27.9%)	医療体制の整備・充実 (24.8%)	安定した雇用の確保 (23.6%)
5	利用しやすい行政サービスの提供 (23.6%)	利用しやすい行政サービスの提供 (22.2%)	利用しやすい行政サービスの提供 (24.8%)	中心市街地の再生 (28.4%)	学校教育の充実 (26.4%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (26.3%)	医療体制の整備・充実 (26.6%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (23.1%)	利用しやすい行政サービスの提供 (22.9%)
6	商店街などの商業の活性化 (22.1%)	商店街などの商業の活性化 (21.9%)	子育て支援の充実 (23.3%)	利用しやすい行政サービスの提供 (20.8%)	中心市街地の再生 (26.4%)	子育て支援の充実 (26.2%)	商店街などの商業の活性化 (23.3%)	開かれた市政、市民参画の推進 (19.9%)	医療体制の整備・充実 (20.2%)
7	子育て支援の充実 (21.4%)	幹線道路や生活道路の整備 (20.1%)	商店街などの商業の活性化 (22.1%)	きれいな景色や歴史的なまち並みの保全 (20.8%)	商店街などの商業の活性化 (26.0%)	商店街などの商業の活性化 (24.5%)	幹線道路や生活道路の整備 (18.4%)	高齢者の生きがいがづくり (19.5%)	開かれた市政、市民参画の推進 (19.9%)
8	中心市街地の再生 (17.6%)	子育て支援の充実 (19.3%)	学校教育の充実 (18.9%)	医療体制の整備・充実 (19.1%)	利用しやすい行政サービスの提供 (21.4%)	中心市街地の再生 (21.6%)	農業の再生・振興 (16.1%)	商店街などの商業の活性化 (18.9%)	農業の再生・振興 (19.4%)
9	学校教育の充実 (17.1%)	民間活力の活用、行政改革の推進 (17.0%)	中心市街地の再生 (18.0%)	幹線道路や生活道路の整備 (18.2%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (20.1%)	利用しやすい行政サービスの提供 (18.6%)	中心市街地の再生 (15.3%)	農業の再生・振興 (17.3%)	不法投棄や公害の防止 (14.9%)
10	幹線道路や生活道路の整備 (16.4%)	中心市街地の再生 (17.0%)	開かれた市政、市民参画の推進 (15.0%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (17.8%)	地域ぐるみでの子どもの健全育成 (17.0%)	幹線道路や生活道路の整備 (17.3%)	自然環境と生態系の保全 (14.6%)	民間活力の活用、行政改革の推進 (16.2%)	商店街などの商業の活性化 (14.9%)

男女別にみると、男女ともに「安定した雇用の確保」がトップであった。

「男性」は、「バスや鉄道などの移動手段の確保」が2位、「医療体制の整備・充実」が3位に入っている。

一方「女性」は「介護予防の充実、介護サービスの充実」が2位、「バスや鉄道などの移動手段の確保」が3位に入っている。また、今年度大きく順位を上げた「開かれた市政、市民参画の推進」が10位に入っている。

年代別にみると、「30歳代」では「子育て支援の充実」が、「70歳以上」では「介護予防の充実、介護サービスの充実」がトップとなった。それ以外の年代では、「安定した雇用の確保」がトップとなった。

「70歳以上」でトップの「介護予防の充実、介護サービスの充実」は、すべての年代で10位以内に入っているものの、年代が低くなるにしたがって、順位も低くなる傾向にある。

今年度大きく順位を上げた「開かれた市政、市民参画の推進」は、「60歳代」で6位に、「70歳以上」で7位に入っている。

【地域別順位】

順位	全体 (n=3,426)	市街地地域 (n=1,221)	市街地周辺地域 (n=714)	犀南地域 (n=880)	松代・若穂 (n=270)	中山間地域 (n=309)
1	安定した雇用の確保 (34.6%)	安定した雇用の確保 (34.5%)	安定した雇用の確保 (32.9%)	安定した雇用の確保 (36.9%)	安定した雇用の確保 (33.3%)	安定した雇用の確保 (31.7%)
2	バスや鉄道などの移動手段の確保 (28.5%)	商店街などの商業の活性化 (27.4%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (29.3%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (30.1%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (31.9%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (29.8%)
3	介護予防の充実、介護サービスの充実 (27.3%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (26.5%)	医療体制の整備・充実 (27.9%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (29.7%)	利用しやすい行政サービスの提供 (25.2%)	利用しやすい行政サービスの提供 (29.1%)
4	医療体制の整備・充実 (25.2%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (26.3%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (26.9%)	利用しやすい行政サービスの提供 (24.7%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (24.1%)	医療体制の整備・充実 (24.6%)
5	利用しやすい行政サービスの提供 (23.6%)	医療体制の整備・充実 (25.8%)	利用しやすい行政サービスの提供 (22.8%)	子育て支援の充実 (23.5%)	医療体制の整備・充実 (24.1%)	山あいの地域の活性化 (22.3%)
6	商店街などの商業の活性化 (22.1%)	中心市街地の再生 (23.5%)	子育て支援の充実 (21.3%)	医療体制の整備・充実 (23.1%)	商店街などの商業の活性化 (20.0%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (22.0%)
7	子育て支援の充実 (21.4%)	利用しやすい行政サービスの提供 (21.6%)	商店街などの商業の活性化 (20.2%)	商店街などの商業の活性化 (20.1%)	子育て支援の充実 (18.9%)	農業の再生・振興 (22.0%)
8	中心市街地の再生 (17.6%)	子育て支援の充実 (21.4%)	学校教育の充実 (18.2%)	学校教育の充実 (15.9%)	開かれた市政、市民参画の推進 (18.1%)	幹線道路や生活道路の整備 (20.1%)
9	学校教育の充実 (17.1%)	学校教育の充実 (17.2%)	中心市街地の再生 (17.9%)	高齢者の生きがいづくり (15.5%)	農業の再生・振興 (17.8%)	子育て支援の充実 (18.1%)
10	幹線道路や生活道路の整備 (16.4%)	開かれた市政、市民参画の推進 (17.0%)	幹線道路や生活道路の整備 (17.9%)	農業の再生・振興 (15.2%)	高齢者の生きがいづくり (17.4%)	自然環境と生態系の保全 (17.5%)

地域別にみると、すべての地域で「安定した雇用の確保」がトップになった。

2位は、「市街地地域」では「商店街などの商業の活性化」が、「市街地周辺地域」と「犀南地域」では「介護予防の充実、介護サービスの充実」が、「松代・若穂」と「中山間地域」では「バスや鉄道などの移動手段の確保」となっており、地域による優先課題の違いがうかがえる。

今年度大きく順位を上げた「開かれた市政、市民参画の推進」は、「市街地地域」で10位、「松代・若穂」で8位に入っている。

【行政施策の優先度順位に係る年次別推移】

設問項目	順位（回答割合）		
	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
安定した雇用の確保	1 (34.6%)	1 (44.6%)	2 (33.3%)
バスや鉄道などの移動手段の確保	2 (28.5%)	2 (32.3%)	6 (25.6%)
介護予防の充実、介護サービスの充実	3 (27.3%)	4 (27.0%)	3 (30.2%)
医療体制の整備・充実	4 (25.2%)	3 (28.0%)	1 (42.2%)
利用しやすい行政サービスの提供	5 (23.6%)	6 (22.0%)	5 (25.8%)
商店街などの商業の活性化	6 (22.1%)	7 (18.7%)	10 (21.0%)
子育て支援の充実	7 (21.4%)	5 (23.2%)	4 (27.9%)
中心市街地の再生	8 (17.6%)	7 (18.7%)	15 (17.5%)
学校教育の充実	9 (17.1%)	9 (17.4%)	9 (22.6%)
幹線道路や生活道路の整備	10 (16.4%)	10 (17.4%)	18 (14.8%)
開かれた市政、市民参画の推進	11 (15.8%)	21 (8.3%)	25 (8.0%)
農業の再生・振興	12 (15.2%)	12 (15.7%)	8 (23.0%)
高齢者の生きがいづくり	13 (14.7%)	16 (12.6%)	16 (16.3%)
自然環境と生態系の保全	14 (13.4%)	20 (10.0%)	13 (19.0%)
民間活力の活用、行政改革の推進	15 (12.7%)	24 (8.0%)	23 (10.0%)
地域ぐるみでの子どもの健全育成	16 (12.5%)	14 (13.6%)	14 (18.1%)
きれいな景色や歴史的なまち並みの保全	17 (12.3%)	15 (12.8%)	21 (11.8%)
防犯体制の推進	18 (11.2%)	11 (15.9%)	11 (20.4%)
不法投棄や公害の防止	19 (11.1%)	19 (11.4%)	17 (15.2%)
低所得世帯に対する保護	20 (10.4%)	18 (11.6%)	19 (13.8%)
緑化の推進、河川等の水辺環境の整備	21 (10.2%)	25 (6.4%)	20 (13.4%)
ごみの減量・再資源化の促進	22 (9.5%)	17 (12.4%)	7 (25.1%)
消防・救急・救助体制の充実	22 (9.5%)	13 (14.8%)	12 (19.8%)
障害者福祉の充実	24 (8.1%)	23 (8.1%)	22 (11.1%)
山あいの地域の活性化	25 (7.9%)	27 (6.3%)	26 (8.0%)
健康づくりの推進	26 (7.4%)	33 (4.8%)	30 (7.1%)
地域での支え合いの環境づくり	27 (7.4%)	26 (6.3%)	29 (7.4%)
生涯スポーツや競技スポーツの振興	28 (6.3%)	28 (6.0%)	28 (7.6%)
豊かな森林づくり	29 (5.9%)	31 (5.1%)	36 (5.4%)
防災対策の推進	30 (5.7%)	22 (8.2%)	24 (10.0%)
交通安全の推進	31 (5.7%)	32 (5.0%)	27 (7.6%)
工業の活性化	32 (5.5%)	29 (5.9%)	31 (7.0%)
生涯学習の推進	33 (4.9%)	34 (4.7%)	33 (6.5%)
芸術文化活動への支援、文化遺産の継承	34 (4.6%)	30 (5.4%)	35 (6.2%)
多様な観光交流の推進	35 (4.6%)	36 (3.3%)	37 (4.0%)
地域コミュニティの活動支援	36 (3.7%)	37 (3.1%)	38 (3.5%)
環境教育や環境学習の推進	37 (3.3%)	39 (2.5%)	32 (6.6%)
上下水道の整備	37 (3.3%)	35 (3.9%)	34 (6.4%)
県内外の他市との連携の推進	39 (3.2%)	42 (1.8%)	40 (2.8%)
ユニバーサルデザインのまちづくり	40 (3.0%)	37 (3.1%)	39 (3.2%)
国際交流や多分化共生の推進	41 (2.5%)	41 (1.9%)	41 (2.6%)
地方分権、広域行政の推進	42 (2.3%)	43 (1.4%)	43 (2.1%)
情報通信基盤の整備	43 (1.7%)	40 (2.0%)	44 (2.0%)
男女共同参画社会の実現	44 (1.2%)	44 (0.9%)	42 (2.3%)
人権同和教育の推進	45 (0.6%)	45 (0.5%)	45 (0.8%)

3. アンケート用紙

平成22年11月16日

各 位

「まちづくりアンケート」ご協力のお願い

拝啓

晩秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろ、市政にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

このアンケートは、市民の皆さまのご意見やご要望をお聴きし、長野市のまちづくりに反映させることを目的に、昭和57年度から毎年度実施しております。

本年度は、平成22年10月18日現在の長野市の住民基本台帳に登録されている20歳以上の市民の皆さまから、5,100人の方を無作為に抽出させていただき、あなたにアンケートをお願いすることとなりました。

この調査のまとめはコンピューターにより統計的に処理を行いますので、個人の秘密が漏れたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはありません。つきましては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、この調査の趣旨をご理解いただき、アンケートの記入にご協力をお願い申し上げます。

なお、調査結果の概要は、平成23年3月発行の「広報ながの」に掲載する予定です。

敬具

長野市長 鷲澤 正一

ご記入の方法などについて

- ☆ この「まちづくりアンケート」は、あなた自身の率直な考えをお書きください。
- ☆ 回答は、あなた自身の考えに近いものをお選びください。
- ☆ 「その他」に当てはまる場合は、() 内に具体的に記入してください。
- ☆ **ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、切手を張らずに平成22年11月30日(火)までにご返送ください。**
- ☆ このアンケートについてのお問い合わせは、
長野市企画政策部広報広聴課広聴担当
電話：026-224-5004(直通)までお願いいたします。

まちづくりアンケート

以下、選択肢の該当する番号に○をしてください。

最初にあなた自身についてお聞きします

問A あなたがお住まいの地区は。

- | | | | | | |
|---------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 1 第一 | 2 第二 | 3 第三 | 4 第四 | 5 第五 | 6 芹田 |
| 7 古牧 | 8 三輪 | 9 吉田 | 10 古里 | 11 柳原 | 12 浅川 |
| 13 大豆島 | 14 朝陽 | 15 若槻 | 16 長沼 | 17 安茂里 | 18 小田切 |
| 19 芋井 | 20 篠ノ井 | 21 松代 | 22 若穂 | 23 川中島 | 24 更北 |
| 25 七二会 | 26 信更 | 27 豊野 | 28 戸隠 | 29 鬼無里 | 30 大岡 |
| 31 信州新町 | 32 中条 | | | | |

※地区名がわからない場合は、町名を記入してください。(_____)

問B あなたの性別は。

- 1 男性 2 女性

問C あなたの年代は。

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代
4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上

問D あなたの職業は。

《自営業主および家族従業員》

- 1 農業・林業・漁業 2 工業 3 商業・自由業

《会社員・公務員》

- 4 会社員（事務系） 5 会社員（技術系） 6 公務員・教員

《その他》

- 7 主婦 8 パート・アルバイト 9 無職（学生含む） 10 その他

問E あなたは長野市にお住まいになって何年になりますか。

- 1 5年未満 2 5年以上10年未満
3 10年以上20年未満 4 20年以上

住宅用火災警報器について

問1 あなたが現在お住まいの住宅について、次の中から1つだけ○をしてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 一戸建ての持ち家 | 2 分譲マンション |
| 3 公的賃貸住宅（公営住宅など） | 4 民営の賃貸住宅（一戸建て） |
| 5 民営の賃貸住宅（アパート・マンションなど） | 6 給与住宅（社宅・寮・公務員住宅など） |
| 7 その他（ _____ ） | |

問2 長野市火災予防条例により、平成21年6月1日までに、すべての住宅へ住宅用火災警報器を設置することが義務付けられています。あなたがお住まいの住宅には、現在、住宅用火災警報器が設置されていますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 設置してある → 問3へ（問4はお答えいただかなくて結構です）
2 設置していない → 問4へ（問3はお答えいただかなくて結構です）

- 問3 問2で「1 設置してある」に○をした方にお伺いします。設置してある場所はどこですか。当てはまるものすべてに○をしてください。
- 1 寝室 2 階段の上部 3 台所 4 すべての居室
5 その他 ()

- 問4 問2で「2 設置していない」に○をした方にお伺いします。設置していない理由を1つだけ選んで○をしてください。
- 1 設置義務を知らなかった 2 設置の費用負担が大きい
3 自分で設置することは難しい 4 購入場所や方法がわからない
5 借家のため、自分で設置してよいかわからない (所有者が付けてくれない)
6 設置した場合の効果がわからない 7 その他 ()

消防団について

消防団員は非常勤特別職の地方公務員で、地域に密着し、住民の安全と安心を守る重要な役割を担っています。

消防団員には報酬や手当が支給されるほか、万が一活動中に負傷した場合は、補償を受けることができます。また、平成22年11月1日現在、56名の女性が消防団に所属しており、災害時の出動をはじめ、火災予防のための広報活動などに活躍しています。

- 問5 あなたは、今住んでいる地域に消防団があることを知っていましたか。
- 1 はい 2 いいえ
- 問6 あなたは、地域の消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ○をしてください。
- 1 すでに消防団員として活動している (かつて入団していた)
2 これから入団したい
3 あまり入団したくない
4 入団するつもりはない } 問7へ
5 わからない

- 問7 問6で「3 あまり入団したくない」または「4 入団するつもりはない」に○をした方にお伺いします。あなたが消防団に入団したくない理由を次の中から2つ以内で選び、○をしてください。
- 1 危険だから 2 精神的、肉体的に負担が大きいから
3 仕事が忙しいから 4 家事・育児が忙しいから
5 自分の時間が制約されるから 6 団体の活動が嫌だから
7 特に理由はない 8 その他 ()

観光について

- 問8 長野市の「観光の魅力」について、あなたが全国の知人・友人に誇れるもの、または勧めたいものは何ですか。次の中から3つ以内で選んで○をしてください。
- 1 自然・景観 2 神社・仏閣・史跡
3 博物館・美術館 4 動植物園
5 温泉 6 スキー場
7 キャンプ場 8 郷土食 (そば打ち体験やおやきづくりを含む)
9 農業体験・農家民泊 10 山歩き・森林浴
11 お祭り・イベント 12 その他 ()

問9 あなたが今まで訪れた観光地と比べて、長野市の観光に足りないと感じるものは何ですか。次の中から2つ以内で選んで○をしてください。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 「食」・「特産品」の充実 | 2 宿泊・観光施設のサービス充実 |
| 3 ボランティアガイドなどの人材 | 4 市民のおもてなしの心 |
| 5 首都圏などでの誘客イベント | 6 ホームページなどを使った情報発信 |
| 7 旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 | |
| 8 近隣都市との連携（広域観光の推進） | 9 その他（ ） |

茶臼山エリアの活性化について

問10 平成21年12月から平成22年11月までの1年間に、あなたは、次の茶臼山エリア（篠ノ井地区）の施設へ何回行きましたか。①から⑥の施設ごとに、行った回数を回答欄から1つだけ選んで番号に○をしてください。

① 自然植物園（家族広場）



② 自然植物園（フジ棚）



③ 自然植物園（アスレック）



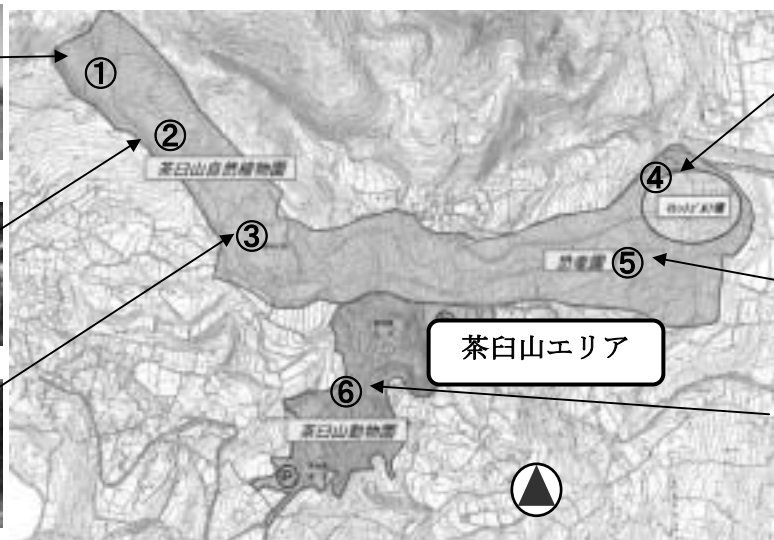
④ マレットゴルフ場



⑤ 恐竜園



⑥ 動物園



<記入例>

施設名	回答欄		
	行かなかった	1～4回行った	5回以上行った
自然植物園（〇〇）	1	2	3

施設名	回答欄		
	行かなかった	1～4回行った	5回以上行った
① 自然植物園（家族広場）	1	2	3
② 自然植物園（フジ棚）	1	2	3
③ 自然植物園（アスレック）	1	2	3
④ マレットゴルフ場	1	2	3
⑤ 恐竜園	1	2	3
⑥ 動物園	1	2	3

問13 あなたは、生涯学習活動をどんな目的で行っていますか。または行いたいと思いますか。次の中から3つ以内で選び、○をしてください。

- 1 教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため
- 2 人間関係を広げるため
- 3 余暇を楽しく過ごすため
- 4 地域や社会とのかかわりを深めるため
- 5 社会貢献をするため
- 6 老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため
- 7 家庭生活に役立てるため
- 8 今の仕事や将来の仕事に役立てるため
- 9 資格取得に役立てるため
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問14 あなたは生涯学習活動を主にどのような方法で行っていますか。または行いたいと思いますか。次の中から3つ以内で選び、○をしてください。

- 1 本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する
- 2 公民館や生涯学習センターを利用する
- 3 図書館を利用する
- 4 体育館・プールなどの公共スポーツ施設を利用する
- 5 上記2から4以外の公共施設（勤労青少年ホーム、働く女性の家、老人福祉センターなど）を利用する
- 6 民間のスポーツクラブやスポーツ施設を利用する
- 7 民間のカルチャーセンターを利用する
- 8 専修学校・各種学校などに通う
- 9 大学を利用する（社会人入学、公開講座）
- 10 通信教育、放送大学を利用する
- 11 個人で先生から習う（けいこ、習い事など）
- 12 その他 ()
- 13 特にない

問15 生涯学習活動をさらに充実させるため、長野市が特に力を入れて取り組むべきものは何だと思いますか。次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

- 1 公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる
- 2 同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する
- 3 公民館などの施設や設備を充実させる
- 4 学んだことを発表する場（機会）をつくり、仲間同士が交流できるようにする
- 5 学んだことを生かせる場（機会）をつくる
- 6 講座や指導者、グループ・サークルなどの情報を充実させる
- 7 生涯学習に関する総合相談窓口を設置する
- 8 その他 ()
- 9 特にない

その他 身近な生活に関することについて

問16 あなたは、体を動かす運動（1日30分以上）をどのくらい行っていますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 週3日以上行っている | 2 週2日行っている |
| 3 週1日行っている | 4 行っていない |

問17 お住まいの地区では、ホテルを見かけることがありますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 今年見かけた 2 今年は見かけていないが、過去1～2年のうちに見かけた
3 ほとんど見かけない 4 見かけない

問18 あなたは、「広報ながの」や「長野市ホームページ」などを通じ、必要な市政情報を手軽に入手できていると感じますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 そう感じる 2 ややそう感じる
3 あまりそう感じない 4 そう感じない 5 わからない

市政全般について

問19 あなたの日常生活を思い出していただき、No. 1 からNo.43のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号1つに○をつけてください。実感や印象、経験でお答えください。

No.	質問項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
例	□□□□□や△△△△な環境が整っている	1	2	3	4	5

《行政経営について》

1	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	1	2	3	4	5
2	地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	1	2	3	4	5
3	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	1	2	3	4	5
4	他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	1	2	3	4	5
5	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5
6	市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	1	2	3	4	5

《保健・福祉について》

7	安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	1	2	3	4	5
8	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	1	2	3	4	5
9	高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	1	2	3	4	5
10	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	1	2	3	4	5
11	地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている	1	2	3	4	5
12	健康相談や市民健診など健康づくりを支援する環境が整っている	1	2	3	4	5
13	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	1	2	3	4	5
14	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	1	2	3	4	5
15	男女が尊重し合い、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	1	2	3	4	5

〈問19の続き〉

No.	質問項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
-----	------	------	--------	-----------	--------	-------

《環境について》

16	地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	1	2	3	4	5
17	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	1	2	3	4	5
18	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	1	2	3	4	5
19	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	1	2	3	4	5
20	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	1	2	3	4	5
21	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	1	2	3	4	5

《防災・安全について》

22	地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	1	2	3	4	5
23	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	1	2	3	4	5
24	消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	1	2	3	4	5

《教育、文化について》

25	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	1	2	3	4	5
26	地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	1	2	3	4	5
27	文化・教育・趣味の講座など、学びたいことを学べる環境が整っている	1	2	3	4	5
28	歴史・文化の保存や継承が、適切に行われている	1	2	3	4	5
29	子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	1	2	3	4	5
30	外国の人や文化との交流が行われている	1	2	3	4	5

《産業、経済について》

31	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	1	2	3	4	5
32	競争力があり価値が高い農産物が生産されている	1	2	3	4	5
33	山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	1	2	3	4	5
34	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1	2	3	4	5
35	工業や製造業に活気がある	1	2	3	4	5
36	個性的で魅力的なお店が増えている	1	2	3	4	5
37	若者や女性、中・高齢者が仕事につきやすい環境がある	1	2	3	4	5

《都市整備について》

38	魅力とにぎわいがある中心市街地が整備されている	1	2	3	4	5
39	公共施設や歩道は、すべての人に優しく暮らしやすい造りとなっている	1	2	3	4	5
40	歴史的まち並みや自然環境に調和した景観が整備されている	1	2	3	4	5
41	利用しやすい公共交通機関が整備されている	1	2	3	4	5
42	日常生活において、使いやすい道路が整備されている	1	2	3	4	5
43	高速インターネットなど、情報通信サービスを利用できる環境が整っている	1	2	3	4	5

問20 住み良い長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を下記45項目の中から5つ選んで、回答欄に番号を記入してください。

分野	番号	項目	分野	番号	項目	
行政経営	1	開かれた市政、市民参画の推進	防災・安全	23	防災対策の推進	
	2	地域コミュニティの活動支援		24	消防・救急・救助体制の充実	
	3	地方分権、広域行政の推進		25	交通安全の推進	
	4	県内外の他市との連携の推進		26	防犯体制の推進	
	保健・福祉	5	民間活力の活用、行政改革の推進	教育・文化	27	学校教育の充実
		6	利用しやすい行政サービスの提供		28	地域ぐるみでの子どもの健全育成
7		子育て支援の充実	29		生涯学習の推進	
8		介護予防の充実、介護サービスの充実	30		芸術文化活動への支援、文化遺産の継承	
9		高齢者の生きがいづくり	31		生涯スポーツや競技スポーツの振興	
10		障害者福祉の充実	32		国際交流や多文化共生の推進	
環境		11	健康づくりの推進	産業・経済	33	多様な観光交流の推進
		12	地域での支え合いの環境づくり		34	農業の再生・振興
		13	低所得世帯に対する保護		35	山あいの地域の活性化
		14	医療体制の整備・充実		36	豊かな森林づくり
	15	人権同和教育の推進	37		工業の活性化	
	16	男女共同参画社会の実現	38		商店街などの商業の活性化	
環境	17	環境教育や環境学習の推進	都市整備		39	安定した雇用の確保
	18	自然環境と生態系の保全		40	中心市街地の再生	
	19	ごみの減量・再資源化の促進		41	ユニバーサルデザインのまちづくり	
	20	不法投棄や公害の防止		42	きれいな景色や歴史的なまち並みの保全	
	21	上下水道の整備		43	バスや鉄道などの移動手段の確保	
	22	緑化の推進、河川等の水辺環境の整備		44	幹線道路や生活道路の整備	
				45	情報通信基盤の整備	

回答欄

1	2	3	4	5

アンケートは以上です。

お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

恐れ入りますが、11月30日（火）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

平成23年3月発行

発行：長野市

編集：長野市企画政策部 広報広聴課

長野市大字鶴賀緑町1613番地 電話 026 (224) 5004 (直通)

E-mail : kouhou-kouchou@city.nagano.nagano.jp

<http://www.city.nagano.nagano.jp>

集計・印刷 株式会社 信光社
